

スマートウェブユニット

クイックスタートガイド

Webアプリ接続

第1版



ICD-CTU



ICD-ETSE

STEP
1

初期設定する

p 8

1. 各機器の設定
2. コントローラーの設定
3. 各機器のケーブル配線
4. パソコンの設定
5. 通信状態の確認

p 9

p23

p30

p32

p38

STEP
2

動作させる

p40

1. Webアプリの立上げ
2. Webアプリから動作させる

p41

p45

補足

無線動作手順

p 51

1. 必要な機器の確認
2. アクセスポイントの設定
3. 無線機器の設定

p54

p55

p57

はじめに

本書は、スマートウェブユニットにおいて、Webアプリへの接続作業を、より早く・簡単に行うために作られた資料です。

取扱いの詳細内容に関しては、別途当社スマートウェブユニットの取扱説明書を参照してください。

【本書対応のコントローラー】

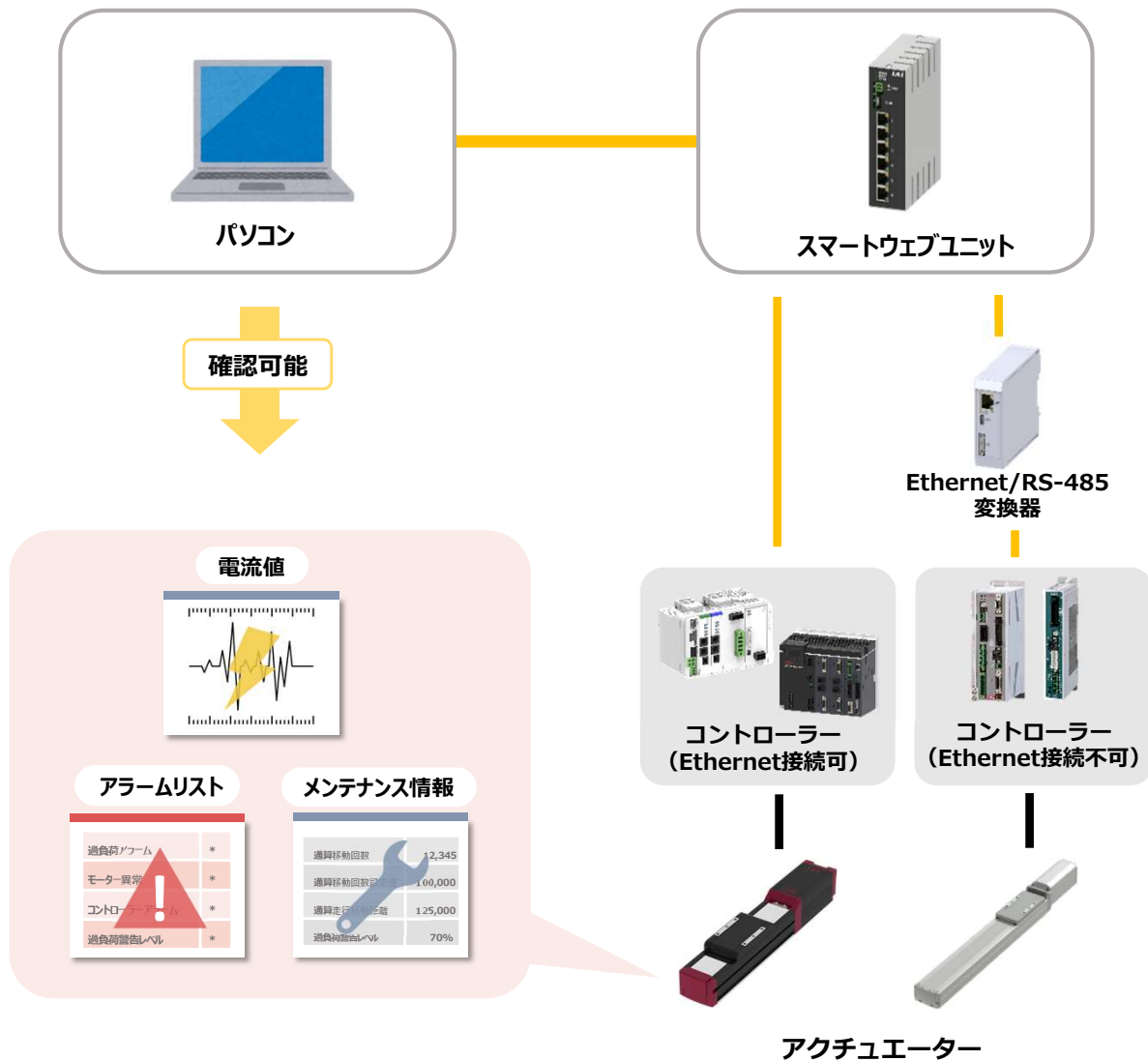
スマートウェブユニット、Ethernet/RS-485変換器

重 要

- 本書では、外部制御機器（PLCなど）の説明については掲載していません。
必要に応じて、各アクチュエーター、コントローラーの取扱説明書を確認してください。
- パソコンOS環境はWindows11にて説明します。
- 設定内容につきましては、お客様がお使いになる条件や用途に合わせて変更をしてください。
- 本書に記載されている事柄は、製品の改良にともない予告なく変更させていただく場合があります。
- この取扱説明書の内容についてご不審やお気付きの点などがありましたら、
“アイエイアイお客様センターエイト” もしくは、最寄りの当社営業所までお問い合わせください。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標または商標です。
- ETHERNET/イーサネットは、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。
- Windows PowerShellは、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本文中における会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

スマートウェブユニットとは

スマートウェブユニットは、
コントローラーと接続し、アクチュエーターの状態確認やデータ収集、データ編集を可能にする製品です。



接続

一般的なWebブラウザを利用し、専用アプリのインストールなしですぐ使えます。



○ コントローラーがスマートウェブユニットに対応しているか確認

スマートウェブユニットに対応しているコントローラーは、以下の表のとおりです。
お手元のコントローラーをご確認ください。

スマートウェブユニット 対応機種
RCON
REC
ACON-CB/CGB/CYB/PLB/POB
DCON-CB/CGB/CYB/PLB/POB
PCON-CB/CGB/CFB/CGFB/CYB/PLB/POB
SCON-CB/CGB
SCON2-CG
RSEL
XSEL2

以下コントローラーについては、Ethernet非対応のため、接続時には Ethernet/RS-485変換器が必要となります。

- RCON（EPオプション/ETオプション付き以外の場合）
- ACONシリーズ
- DCONシリーズ
- PCONシリーズ
- SCONシリーズ
- SCON2シリーズ（I/O種類がEP以外の場合）



アクチュエーターおよびコントローラーによって、使用可能な機能が変わります。
詳細は、取扱説明書[スマートウェブユニット（MJ0495）]をご確認ください。



注意

下記コントローラーについては、ファームウェアバージョンが対応しているかを確認してください。
SCON2（V000D 以降） / RCON-GW（V000D 以降）
RSEL（V1.20 以降） / XSEL2（メインCPU V1.06 以降）



1 必要な機器の確認 (1)

以下の機器を用意してください。

スマートウェブユニット（型式：ICD-CTU-*） 数量1



- 24V電源用コネクター
数量1
型式：FMC 1.5/2-ST-3.5-RF



※スマートウェブユニット本体に付属

- ACアダプター
数量1
型式：UNXVX3024-240010SA



※型式：ICD-CTUのみ
スマートウェブユニット本体に付属

Ethernet/RS-485変換器（型式：ICD-ETSE-*） 数量1



- TB-03 コントローラー接続ケーブル
CON接続仕様 0.5m 数量1
型式：CB-TB3-C005



※変換器本体に付属

※Ethernet/RS-485変換器は、
Ethernet非対応コントローラーを
使用する場合に必要です。

※USBケーブル、TB-03 コントローラー接続
ケーブルを接続することで、接続先の機器から
電源供給がされます。

周辺機器

- パソコン 数量1





2 必要な機器の確認 (2)

以下の機器を用意してください。

アクチュエーター (型式例 : RCP6-** / RCS4-**)



RCP6-SA6C



RCS4-SA6C

コントローラー (型式例 : RCON / PCON-CB)

本書では、Ethernet対応のコントローラーはRCON、Ethernet非対応のコントローラーはPCON-CBを例に立上げをおこないます。

● Ethernet対応コントローラー



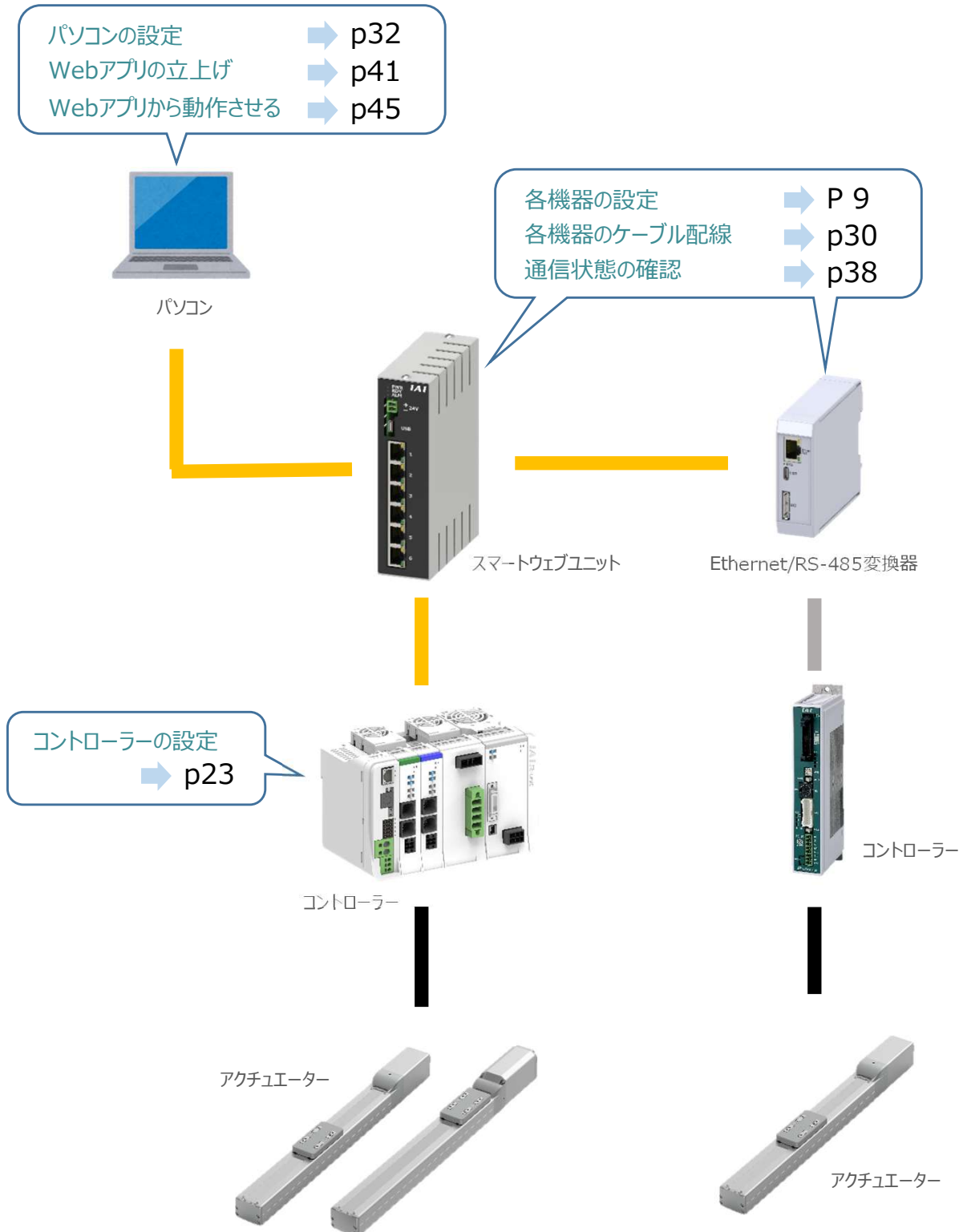
RCON-GW/GWG-N-EP-**

● Ethernet非対応コントローラー



PCON-CB-**

3 接続図



STEP 1

初期設定をする

1. 各機器の設定	P 9
2. コントローラーの設定	P23
3. 各機器のケーブル配線	P30
4. パソコンの設定	P32
5. 通信状態の確認	P38

1 各機器の設定

スマートウェブユニット、Ethernet/RS-485変換器について、配線前に初期設定をする必要があります。
無線機器パラメーター設定ツールを使用し、初期設定をしてください。

無線機器パラメーター設定ツールのインストール



無線機器パラメーター設定ツールは、IA-OS（V17.00.00.00以降）のインストーラーに含まれています。IA-OS（V17.00.00.00以降）をインストール時に、無線機器パラメーター設定ツールをインストールしている場合、この作業は不要です。

アイエイアイのHPから、無線機器パラメーター設定ツールをインストールします。

- ① アイエイアイ HPへアクセスします。



- ② トップページメニューバーから **ダウンロード** をクリックし、ダウンロードページを開きます。



- ③ “IAI HPダウンロード 画面” をスクロールし、“4.パソコン用ソフトウェアダウンロード” から “スマートウェブユニット（設定ツール・アップデートファイル）” をクリックします。

IAI HPダウンロード 画面

4. パソコン用ソフトウェアダウンロード

- IA-OS、RC/EC用PC対応ソフト
- XSEL用PC対応ソフト
- カリキュレーター
 - (電源容量・サイクルタイム・タイミングチャート・回生抵抗ユニット必要数などを計算するソフト)
- IXA/CRS用シミュレーター
 - (オフラインでのシミュレーションソフト)
- LC-LADDER
 - (ラダー作成ツール)
- SELプログラムジェネレーター
 - (プログラム自動生成ツール)
- スマートウェブユニット
 - (設定ツール・アップデートファイル)

- ④ スマートウェブユニット用設定ツール (smartweb_tool.zip) をクリックすると、ファイルがダウンロードされます。

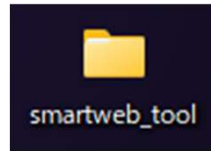
IAI HPダウンロード 画面

スマートウェブユニット用設定ツール

名称/仕様	バージョン	対応OS	更新日	ダウンロード
スマートウェブユニット 設定ツール	V1.0.0.0	Windows 11	2026年4月	smartweb_tool.zip (106 MB)

- ⑤ ダウンロードされたZIP ファイルを解凍し、フォルダ内のツールをデスクトップなどにコピーします。

無線機器パラメーター設定ツール

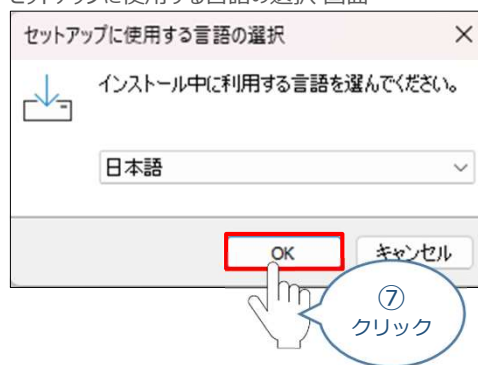


- ⑥ 解凍したファイル内にある無線機器パラメーター設定ツールをダブルクリックし、セットアップを行います。



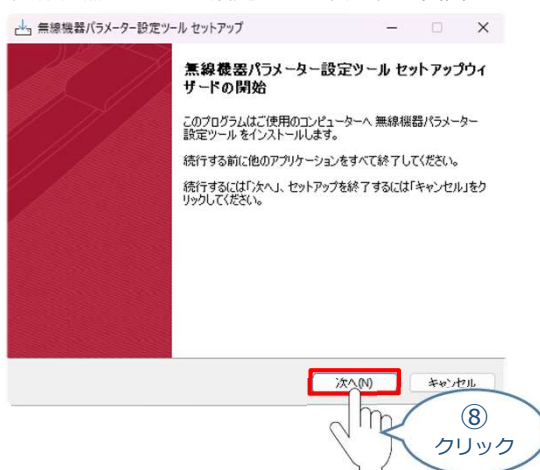
- ⑦ “セットアップに使用する言語の選択 画面” で、言語を選択し、**OK** をクリックします。

セットアップに使用する言語の選択 画面



- ⑧ “無線機器パラメーター設定ツールセットアップ 画面” で、記載内容を確認し、**次へ(N)** をクリックします。

無線機器パラメーター設定ツールセットアップ 画面



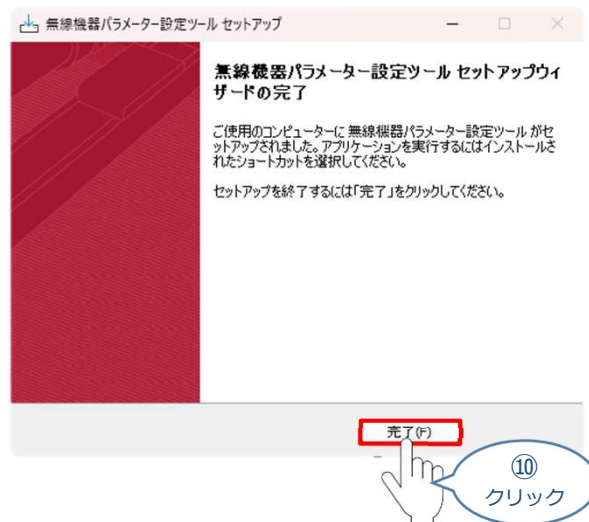
- ⑨ “無線機器パラメーター設定ツールセットアップ 画面” で、記載内容を確認し、**インストール(I)** をクリックします。

無線機器パラメーター設定ツールセットアップ 画面



- ⑩ “無線機器パラメーター設定ツールセットアップ 画面” で、**完了(F)** をクリックします。

無線機器パラメーター設定ツールセットアップ 画面

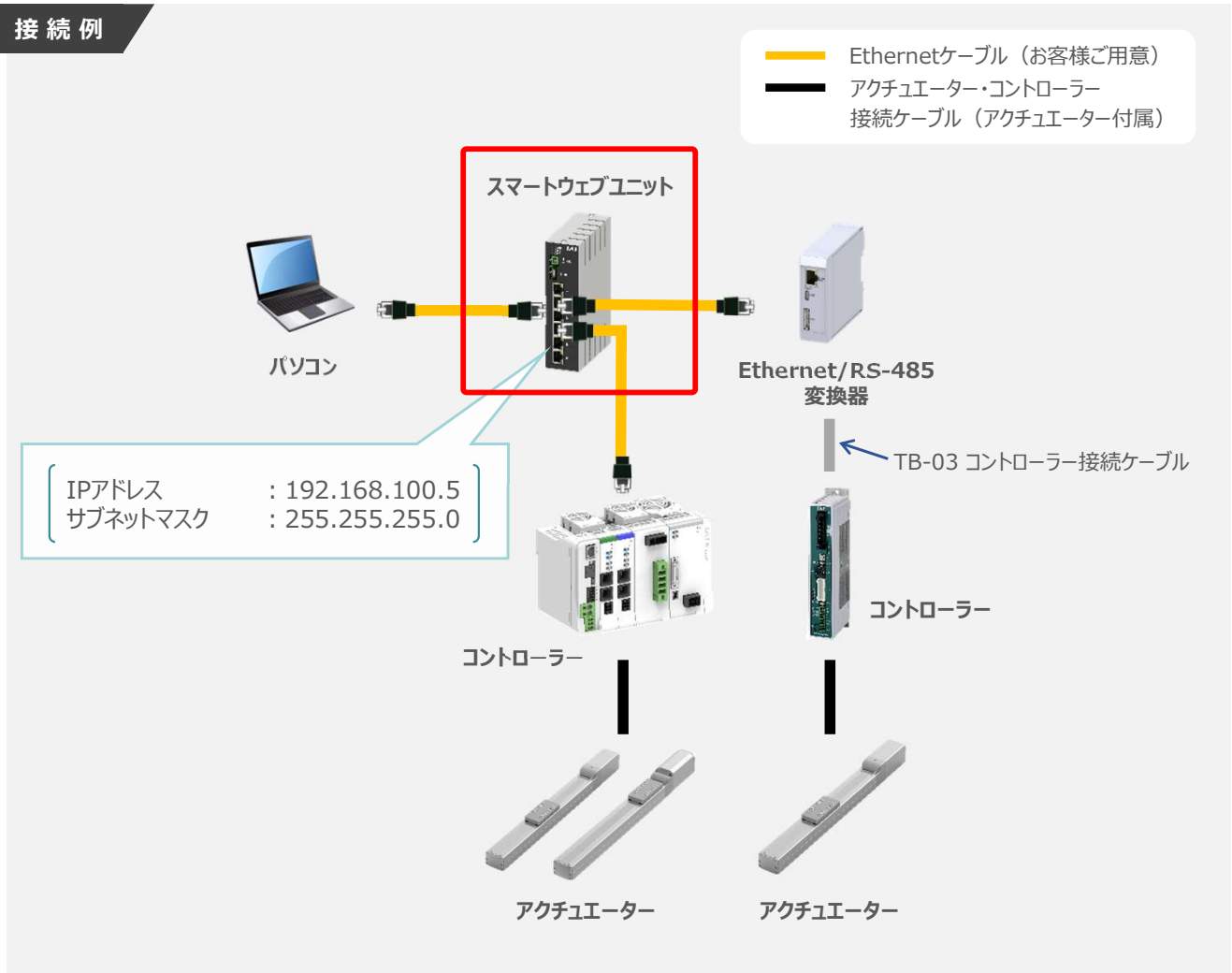


以上で、無線機器パラメーター設定ツールのインストールは終了です。

スマートウェブユニットの設定

スマートウェブユニットの設定を行います。
スマートウェブユニットを使用しない場合、この作業は不要です。

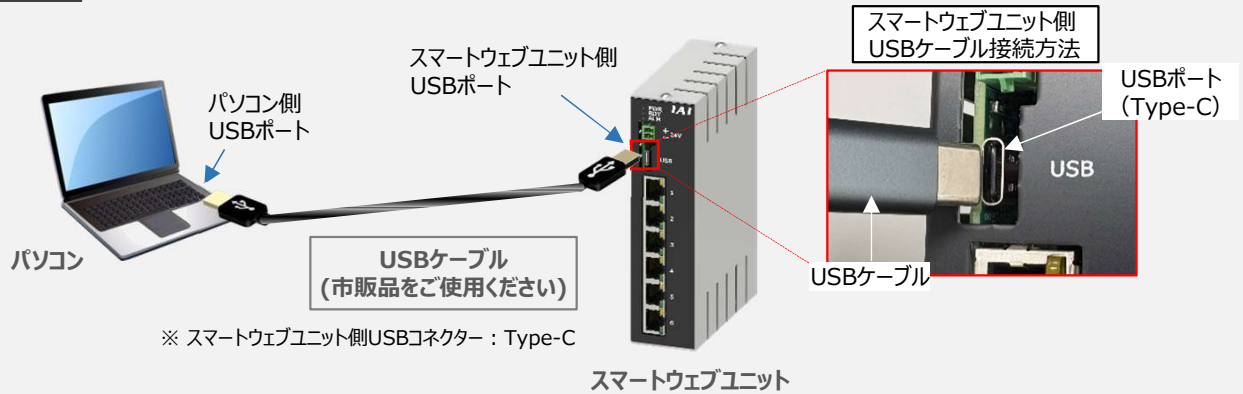
接続例



1 USBケーブルの接続

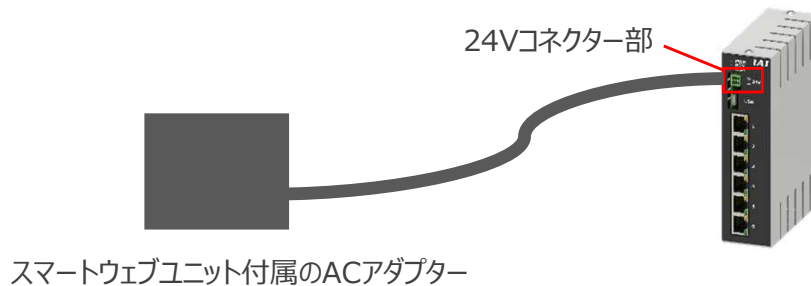
USBケーブルを下図のように接続します。

接続例



2 無線機器パラメーター設定ツールへの電源投入

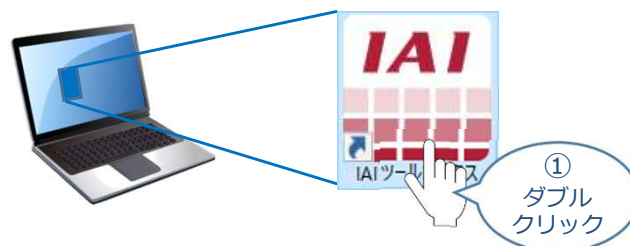
スマートウェブユニットの24Vコネクター部に、ACアダプターから24V電源を投入します。



3 無線機器パラメーター設定ツールの起動

- ① まず、“IAI ツールボックス”を立上げます。

アイコン  をダブルクリックし、ソフトウェアを起動します。



- ② “IAI ツールボックス 画面” が立上がります。画面右上の言語表示が “Japanese” であることを確認します。続いて、“その他 タブ” の “無線機器パラメーター設定ツール”のアイコンをクリックします。

IAI ツールボックス 画面

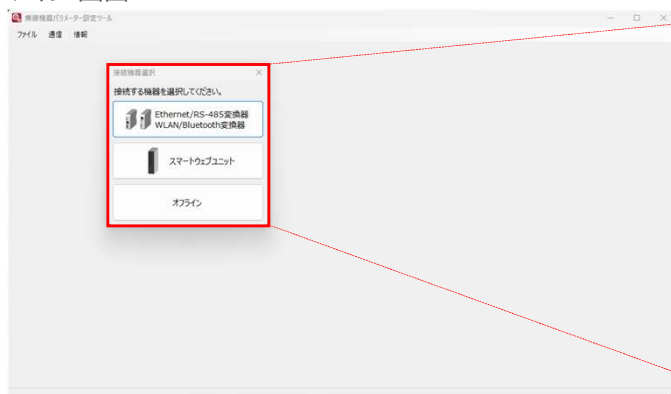


4 無線機器パラメーター設定ツールでの設定

- ① “メイン 画面” が表示され、“接続機器選択 ウィンドウ” が現れます。



メイン 画面



接続機器選択 ウィンドウ



- ② “通信インタフェース選択 画面” が表示されるので、**USBシリアル通信** を選択します。

通信インタフェース選択 画面



- ③ “COMポート選択 画面” が表示されるので、COMポートを確認して、**通信開始** を選択します。
通信確立が完了したら、**OK** をクリックします。

COMポート選択 画面

COMポート選択

通信対象のCOMポートを選択してください。

COM8

戻る 通信開始

通信確立 画面

通信確立

通信ポート:COM8
機器名称:ICD-CTU

接続に成功しました。

OK キャンセル

- ④ スマートウェブユニットの “パラメーター編集 画面” が表示されます。

パラメーター編集 画面

パラメーター編集(パラメーター設定ツール)

ファイル 通信 接続

接続機器:COM8[ICD-CTU]

転送 保存 ホスト名設定 時刻設定 ソフトウェアリセット

No.	名称	設定値
1	IPアドレス	192.168.11.17
2	サブネットマスク	255.255.252.0
3	デフォルトゲートウェイ	
4	DNS(プライマリー)	
5	DNS(セカンダリー)	

以下の2つのパラメーターを
設定します。

No.1 IPアドレス
No.2 サブネットマスク

- ⑤ パラメーターNo.1 IPアドレス の設定値欄 をダブルクリックし、IPアドレスを入力し、**OK** をクリックします。

No.	名称	設定値
1	IPアドレス	192.168.11.17
2	サブネットマスク	255.255.252.0
3	デフォルトゲートウェイ	
4	DNS(プライマリー)	
5	DNS(セカンダリー)	



パラメーター値入力

IPアドレス

192 . 168 . 100 . 5

OK

事例では、IPアドレスを
“192.168.100.5” と入力します。

- ⑥ パラメーターNo.2 サブネットマスク の設定値欄 をダブルクリックし、サブネットマスクを入力します。

No.	名称	設定値
1	IPアドレス	192.168.100.5
2	サブネットマスク	255.255.252.0
3	デフォルトゲートウェイ	
4	DNS(プライマリー)	
5	DNS(セカンダリー)	

⑥ ダブルクリック

パラメーター値入力

サブネットマスク

255 . 255 . 255 . 0

⑥ クリック

事例では、IPアドレスを
“255.255.255.0” と入力します。
(デフォルト値)

- ⑦ **転送** をクリックし、設定したパラメーターを転送します。

パラメーター編集 画面

無線機器パラメーター設定ツール

ファイル 通信 情報

接続機器:COM12[ICD-CTU]

転送 保存 ホスト名設定 時刻設定 ソフトウェアリセット

⑦ クリック

- ⑧ 転送の“確認 画面”が表示されますので、**はい** をクリックします。
“情報 画面”では **OK** をクリックします。

確認 画面

確認

パラメーターを対象機器へ転送します。
よろしいですか?

はい いいえ

⑧ クリック

情報 画面

情報

パラメーター転送が完了しました。

OK

⑧ クリック

- ⑨ ソフトウェアリセット実行の“確認 画面”が表示されますので、**はい** をクリックします。
“情報 画面”では **OK** をクリックします。

確認 画面

確認

ソフトウェアリセットを実行します。
よろしいですか?

はい いいえ

⑨ クリック

情報 画面

情報

ソフトウェアリセットが完了しました。

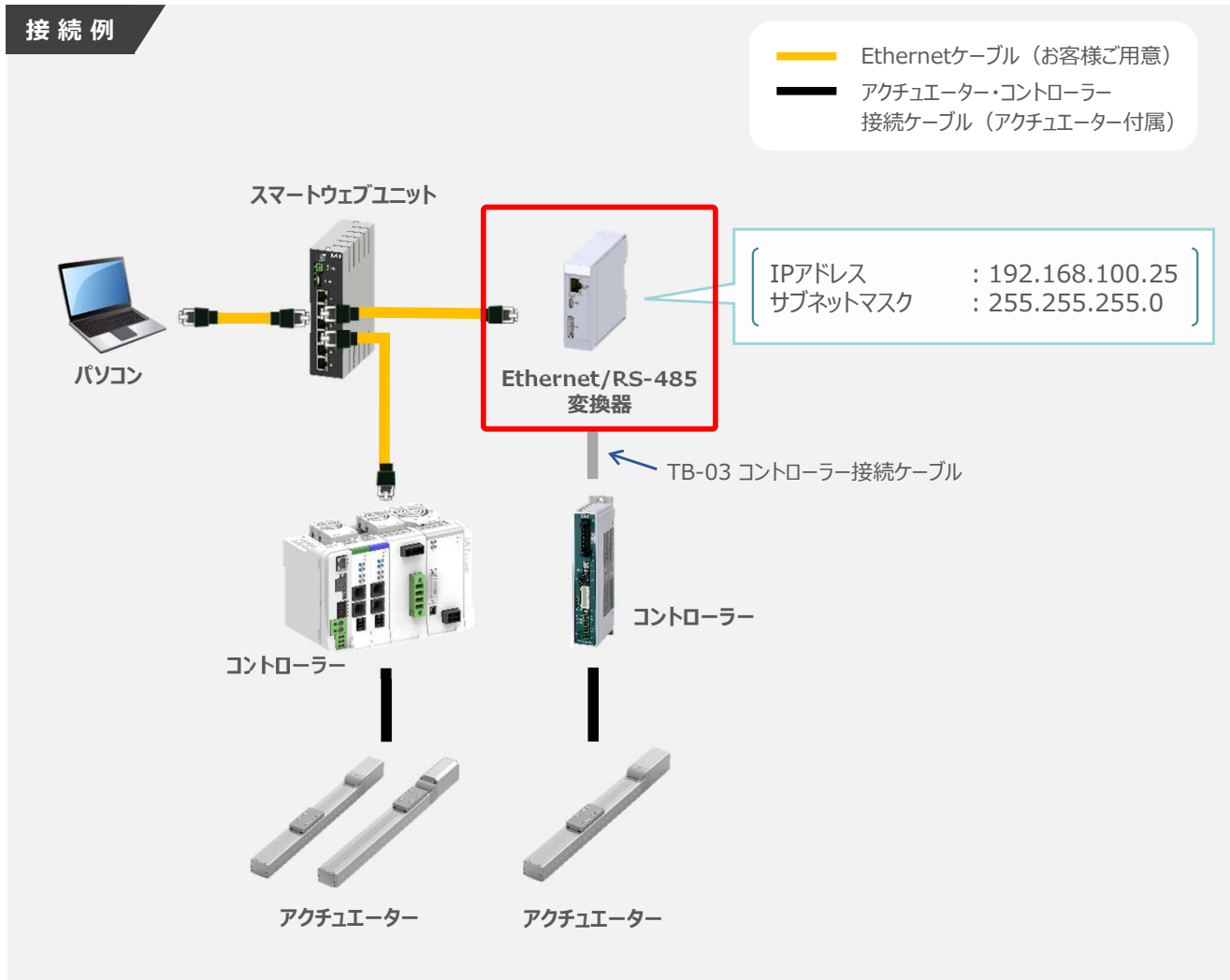
OK

⑨ クリック

Ethernet/RS-485変換器の設定

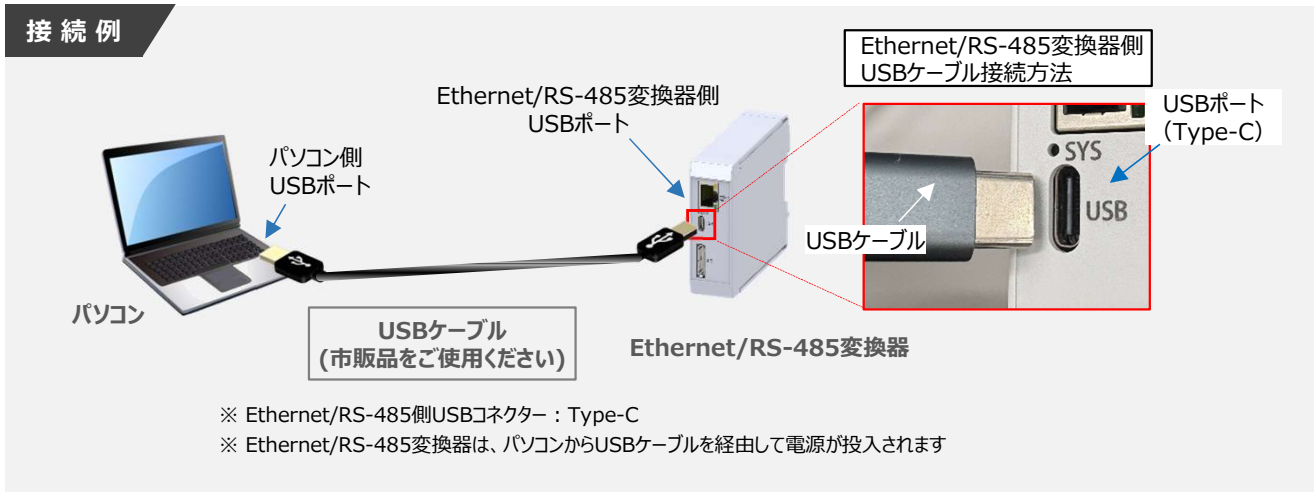
Ethernet/RS-485変換器の設定を行います。
Ethernet/RS-485変換器を使用しない場合、この作業は不要です。

接続例



1 USBケーブルの接続

USBケーブルを下図のように接続します。



2 無線機器パラメーター設定ツールの起動

“IAI ツールボックス 画面” を立上げ、画面右上の言語表示が “Japanese”であることを確認します。

“その他 タブ” の “無線機器パラメーター設定ツール”のアイコン  をクリックします。

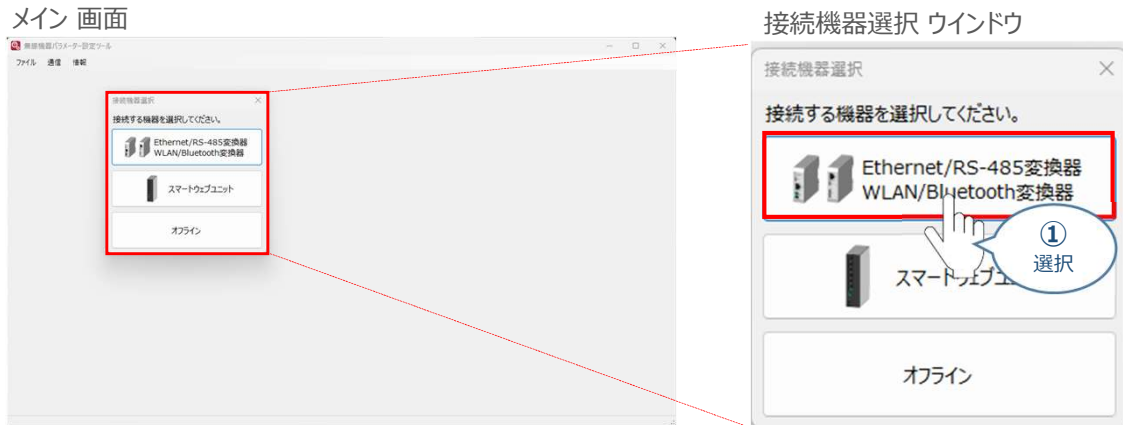
IAI ツールボックス 画面



3 無線機器パラメーター設定ツールでの設定

- ① “メイン 画面” が表示され、“接続機器選択 ウィンドウ” が現れます。

 Ethernet/RS-485変換器
WLAN/Bluetooth変換器 を選択します。



- ② “通信インタフェース選択 画面” が表示されるので、**USBシリアル通信** を選択します。



- ③ “通信ポート選択 画面” が表示されるので、COMポートを確認して、**通信開始** をクリックします。
通信確立が完了したら、**OK** をクリックします。



- ④ Ethernet/RS-485変換器の“パラメーター編集 画面”が表示されます。

パラメーター編集 画面

No.	名称	設定値
1	IPアドレス	192.168.11.1
2	サブネットマスク	255.255.255.0
3	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
4	UDP検索フレーム用ポート番号	49152
5	非アクティブ時間[ms]	500
6	SIO通信速度[bps]	

ここで以下の3つのパラメーターを設定します。

No.1 IPアドレス

No.2 サブネットマスク

No.4 UDP検索フレーム用ポート番号

- ⑤ パラメーターNo.1 IPアドレス の設定値欄 をダブルクリックし、IPアドレスを入力後、**OK** をクリックします。

No.	名称	設定値
1	IPアドレス	192.168.11.1
2	サブネットマスク	255.255.255.0
3	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
4	UDP検索フレーム用ポート番号	49152
5	非アクティブ時間[ms]	500
6	SIO通信速度[bps]	



事例では、IPアドレスを
“192.168.100.25” と入力します。

- ⑥ パラメーターNo.2 サブネットマスク の設定値欄 をダブルクリックし、サブネットマスクを入力後、

OK をクリックします。

No.	名称	設定値
1	IPアドレス	192.168.100.25
2	サブネットマスク	255.255.255.0
3	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
4	UDP検索フレーム用ポート番号	49152
5	非アクティブ時間[ms]	500
6	SIO通信速度[bps]	



事例では、IPアドレスを
“255.255.255.0” と入力します。
(デフォルト値)

- ⑦ パラメーターNo.4 UDP検索フレーム用ポート番号 の設定値欄 をダブルクリックし、UDP検索フレーム用ポート番号を入力します。

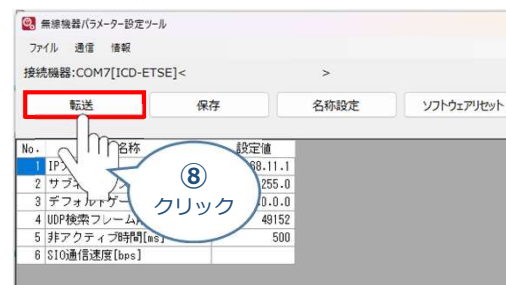
No.	名称	設定値
1	IPアドレス	192.168.100.25
2	サブネットマスク	255.255.255.0
3	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
4	UDP検索フレーム用ポート番号	49152
5	非アクティブ時間[ms]	500
6	SIO通信速度[bps]	

事例では、UDP検索フレーム用ポート番号を“49152”と入力します。（デフォルト値）

4	UDP検索フレーム用ポート番号	49152
---	-----------------	-------

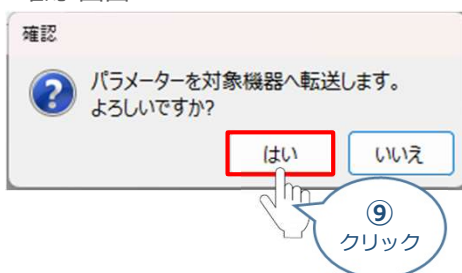
- ⑧ **転送** をクリックし、設定したパラメーターを転送します。

パラメーター編集 画面



- ⑨ 転送の“確認 画面”が表示されますので、**はい** をクリックします。
“情報 画面”では **OK** をクリックします。

確認 画面

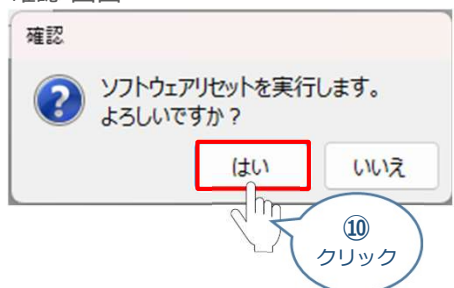


情報 画面



- ⑩ ソフトウェアリセット実行の“確認 画面”が表示されますので、**はい** をクリックします。
“情報 画面”では **OK** をクリックします。

確認 画面



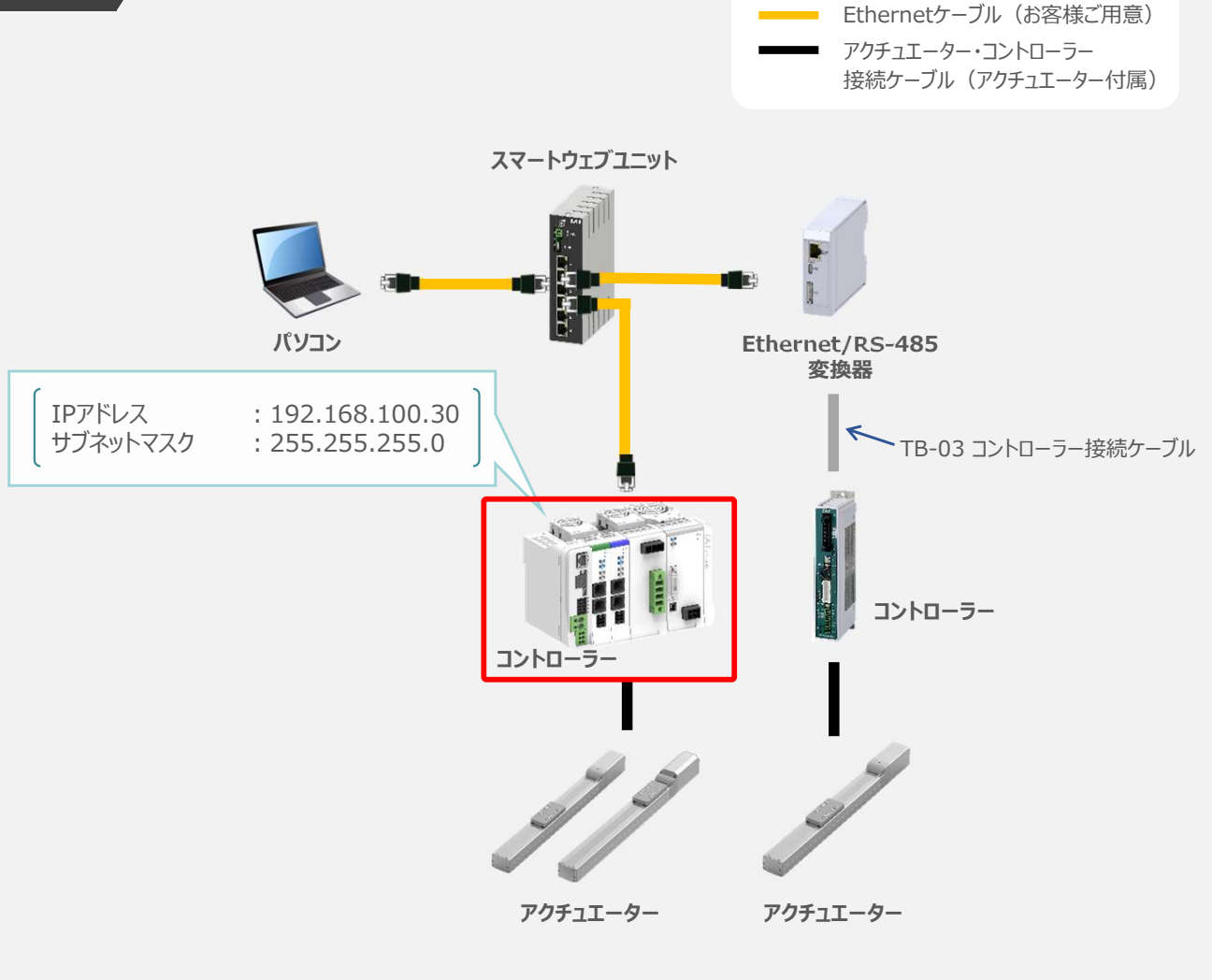
情報 画面



2 コントローラーの設定

スマートウェブユニットから、Ethernetケーブルで直接接続するコントローラーの設定をします。
本事例では、RCON フロントポート仕様を例に説明します。

接続例

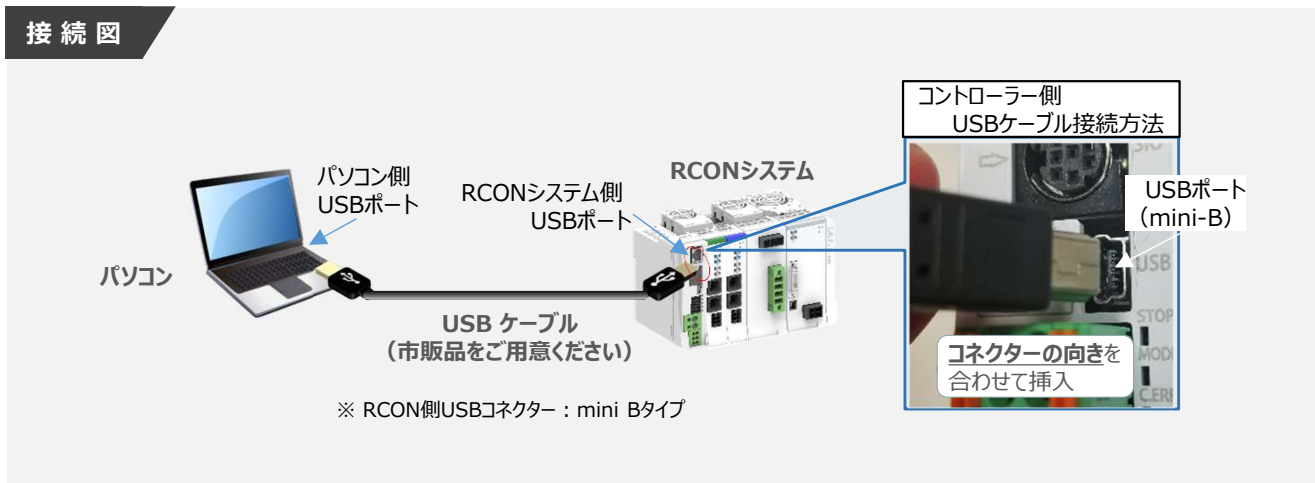


RCONゲートウェイパラメーターの設定

スマートウェブユニットとRCONのEthernetポートを接続し、通信をするための設定を行います。

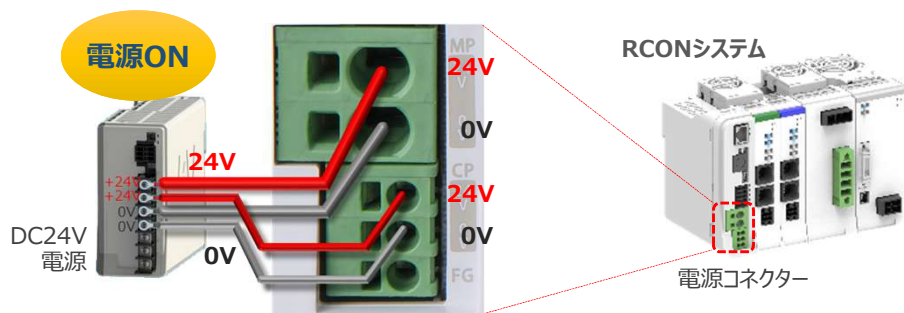
1 USBケーブルの接続

- ① USBケーブルを下図のように接続します。

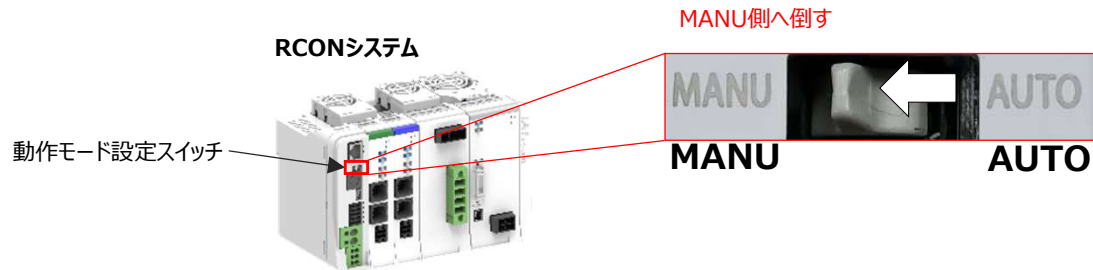


コントローラー“USB”ポートにUSBケーブルを接続するときは、上記のとおりコネクタの向きを合わせて挿入してください。合わない場合、コネクタを破損させる原因になります。

- ② USBケーブル接続後コントローラー電源コネクタ部にDC24V電源を投入します。



- ③ コントローラーの動作モード設定スイッチを『MANU』側に倒します。



2 IA-OSの接続

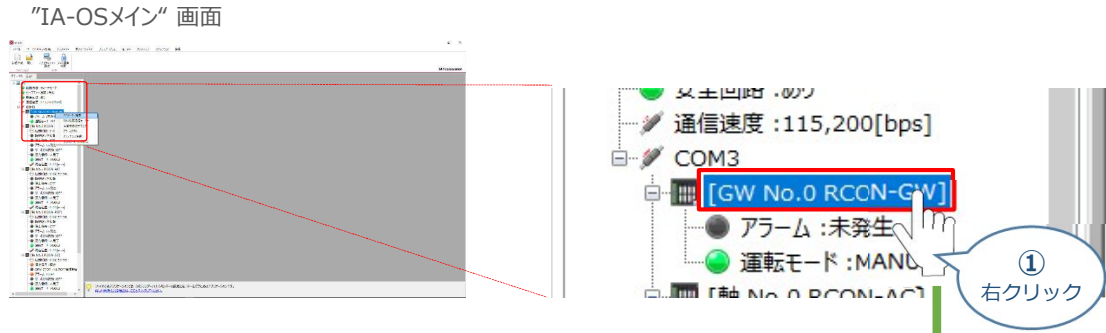
“IAI ツールボックス”から、IA-OSを立上げ、接続します。

IAI ツールボックス 画面

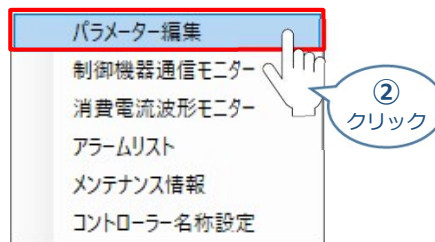


3 ゲートウェイパラメーター編集画面を開く

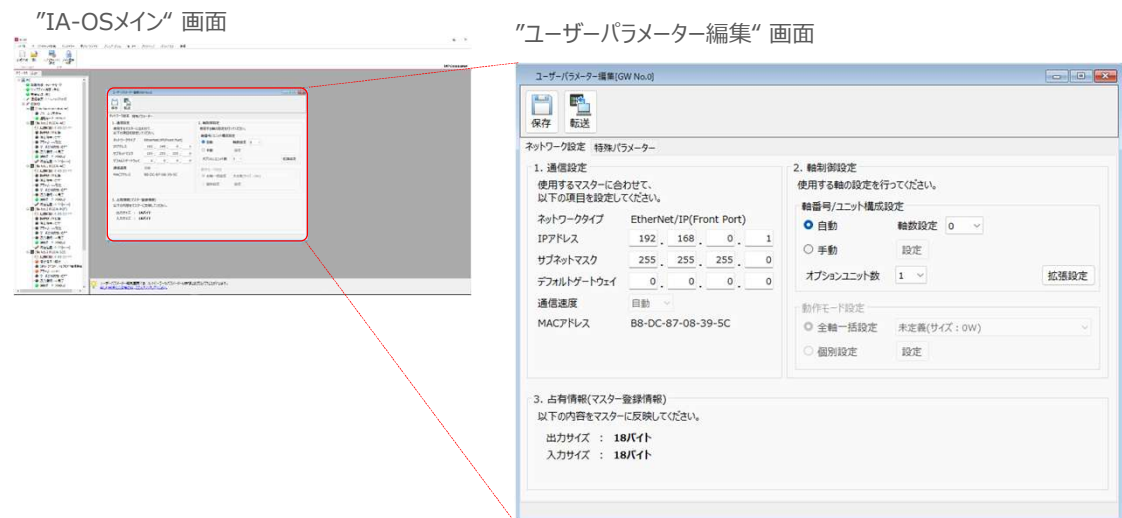
- ① “IA-OSメイン”画面 のステータス欄にある **[GW No.0 RCON-GW]** を右クリックします。



- ② **パラメーター編集** をクリックします。



- ③ “IA-OSメイン”画面内に “ユーザーパラメーター編集” 画面が表示されます。



4 ゲートウェイパラメーターの編集



本事例では、RCON フロントポート仕様での設定方法を説明します。
ETオプション付きのRCON、SCON2の設定方法は別途、取扱説明書を確認してください。

- ① “ユーザーパラメーター編集” 画面 から、IPアドレスの値を設定します。

“ユーザーパラメーター編集”画面

ネットワークタイプ	EtherNet/IP(Front Port)			
IPアドレス	192	168	100	30
サブネットマスク	255	255	255	0
デフォルトゲートウェイ	0	0	0	0

事例では、IPアドレスを “192.168.100.30” と入力します。

- ② 次に、サブネットマスクの値を設定します。

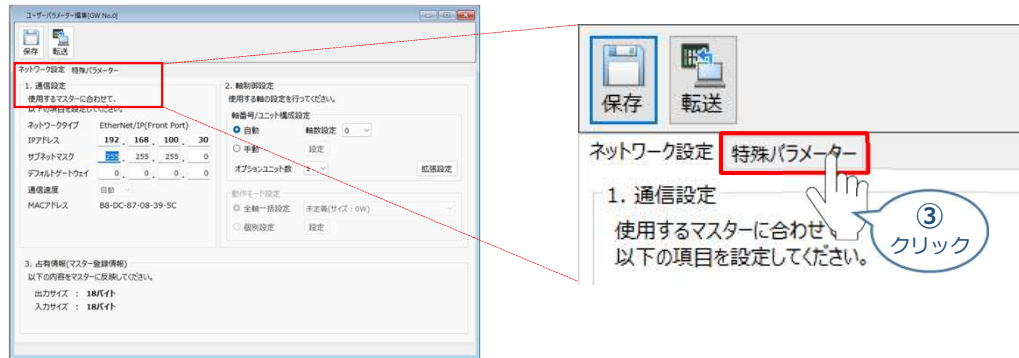
“ユーザーパラメーター編集”画面

ネットワークタイプ	EtherNet/IP(Front Port)			
IPアドレス	192	168	100	30
サブネットマスク	255	255	255	0
デフォルトゲートウェイ	0	0	0	0

事例では、サブネットマスク を “255.255.255.0” と入力します。

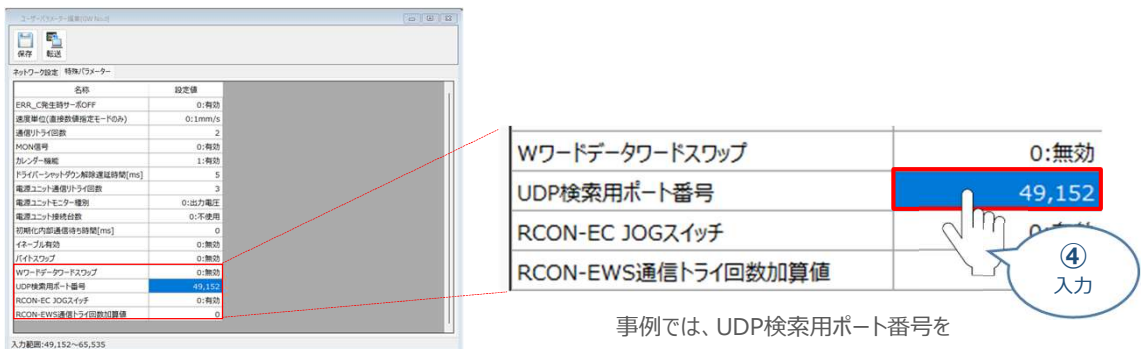
- ③ “ユーザーパラメーター編集” 画面の **特殊パラメーター** タブをクリックします。

“ユーザーパラメーター編集”画面



- ④ “UDP検索用ポート番号” の設定値欄に、設定する値を入力します。

“ユーザーパラメーター編集”画面



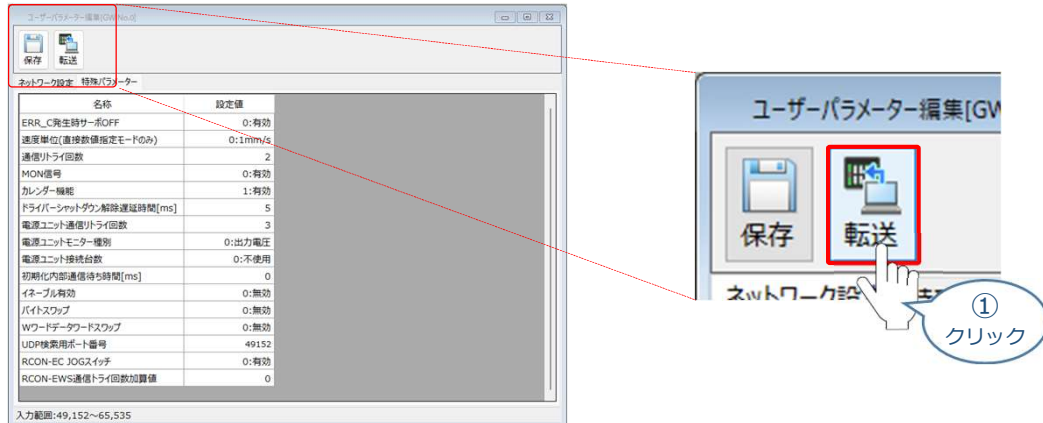
事例では、UDP検索用ポート番号を
“49,152”（デフォルト値）と入力します。

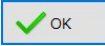
パラメーターの転送と書込み

以下の操作手順で、コントローラーへ編集したパラメーターを転送します。

- ① “ユーザーパラメーター編集” 画面の  をクリックします。

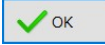
“ユーザーパラメーター編集” 画面



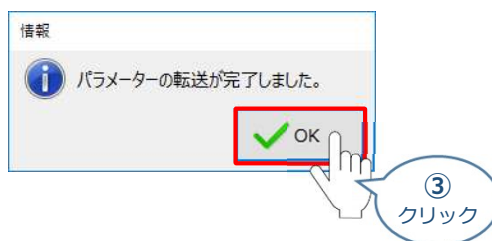
- ② “パラメーター転送時の処理内容 確認” 画面の  をクリックします。

“パラメーター転送時の処理内容 確認” 画面



- ③ 転送完了後 “情報” 画面が表示されます。  をクリックします。

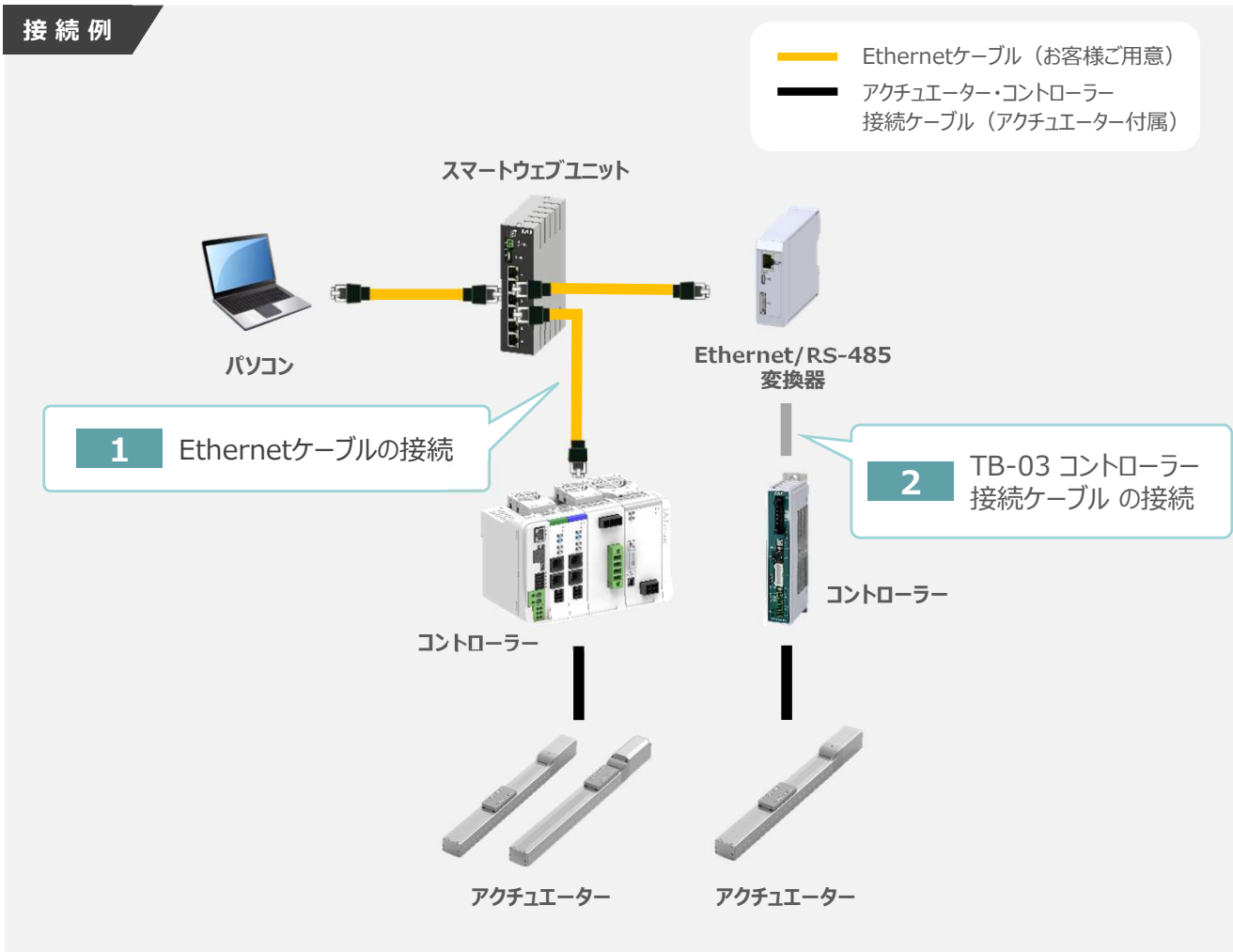
“情報” 画面



3 各機器のケーブル配線

下記の接続例を参考にEthernetケーブル、TB-03 コントローラー接続ケーブルで配線を行ってください。

接続例



以下のケーブル接続について、説明をします。

- 1 Ethernetケーブルの接続
- 2 TB-03 コントローラー接続ケーブルの接続



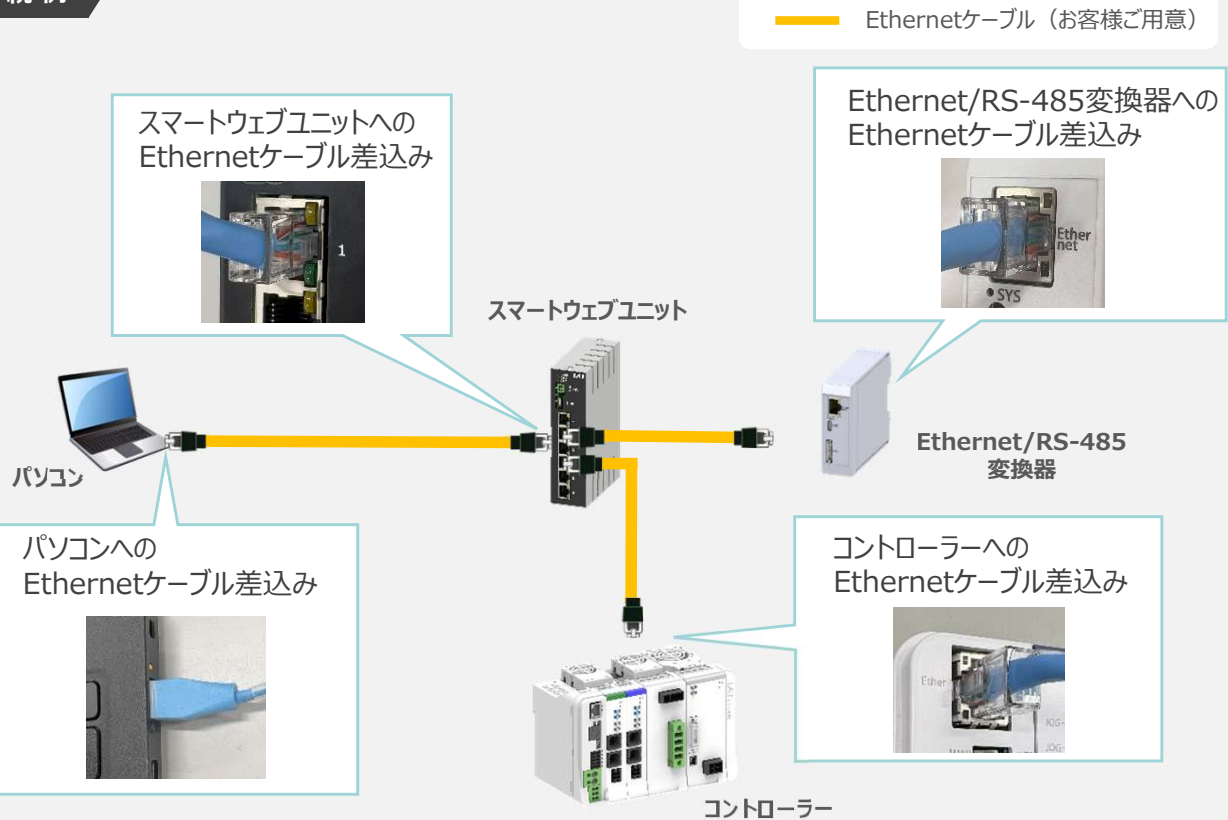
参照

コントローラーとアクチュエーターの接続については、各取扱説明書をご確認ください。

1 Ethernetケーブルの接続

下記の接続例を参考にEthernetケーブルの配線を行ってください。

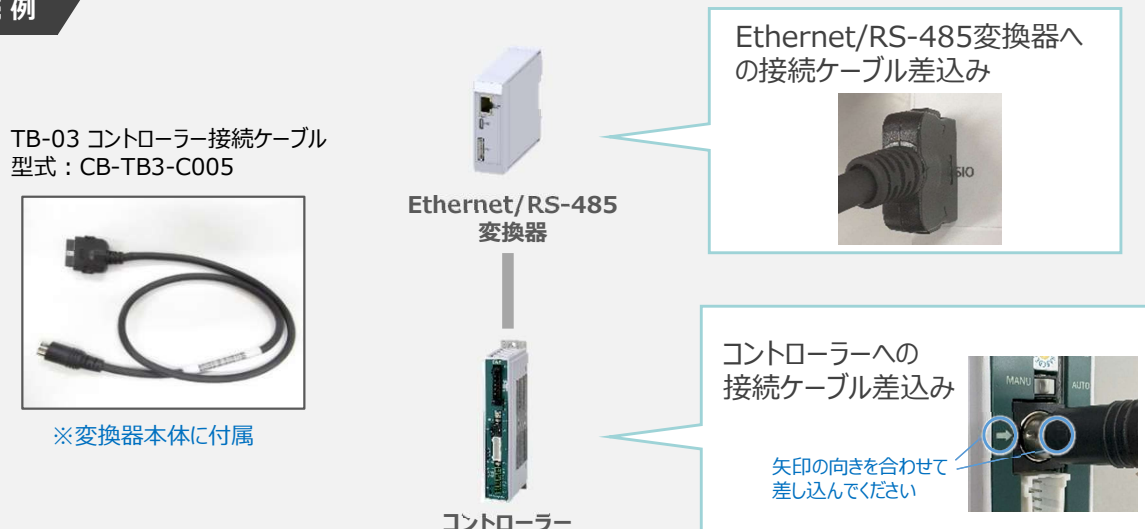
接続例



2 TB-03 コントローラー接続ケーブル の接続

Ethernet/RS-485変換器を使用する場合、以下の例を参考にTB-03 コントローラー接続ケーブルの配線を行ってください。

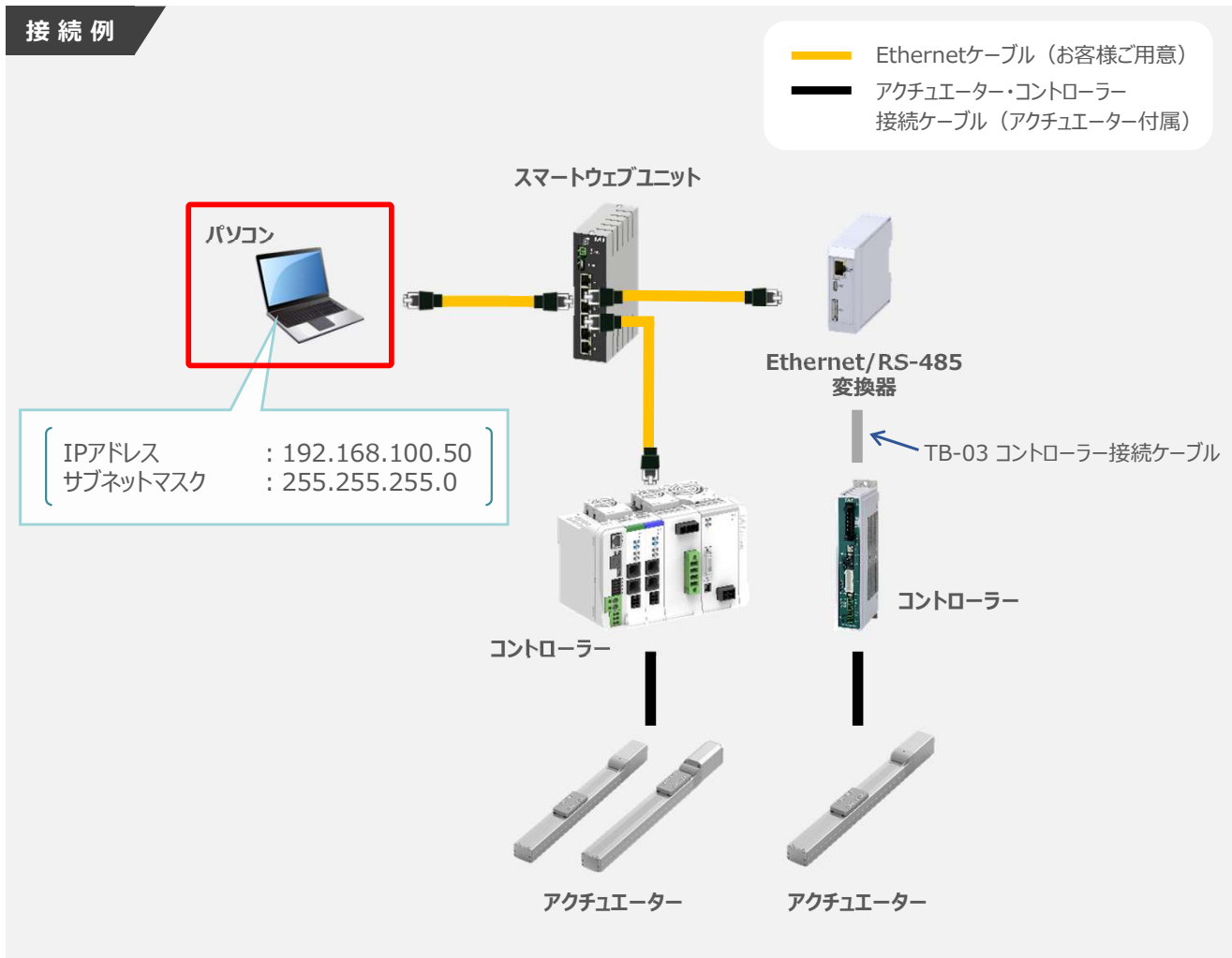
接続例



4 パソコンの設定

Webアプリを開くパソコンのIPアドレスの設定方法を説明します。

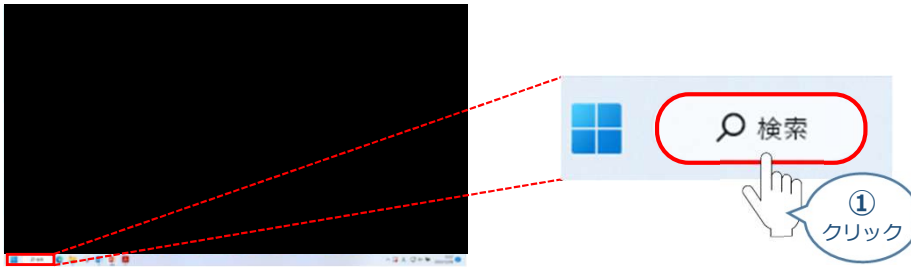
接続例



IPアドレスの設定

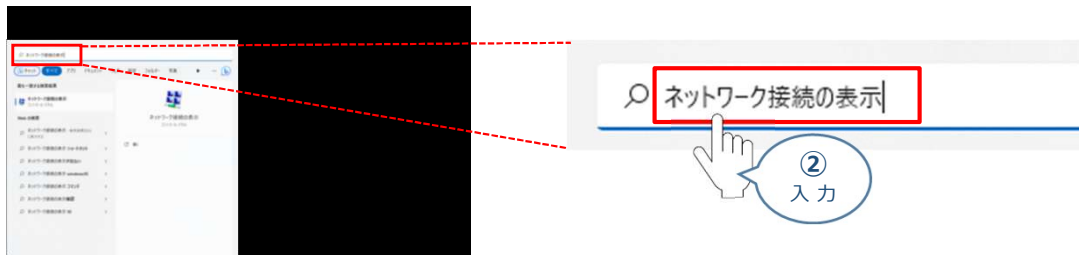
- ① Windowsの タスクバーにある 🔍 検索 をクリックします。

デスクトップ 画面



- ② 検索欄に 🔍 ネットワーク接続の表示 を入力します。

デスクトップ 画面



- ③ ネットワーク接続の表示 コントロール パネル をクリックします。

デスクトップ 画面

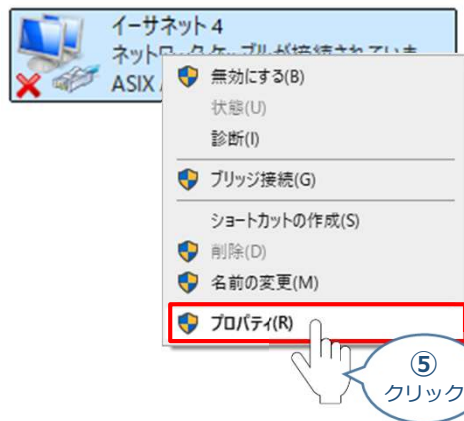


- ④ “ネットワーク接続 画面” が表示されます。使用するネットワークを選び右クリックします。

ネットワーク接続 画面



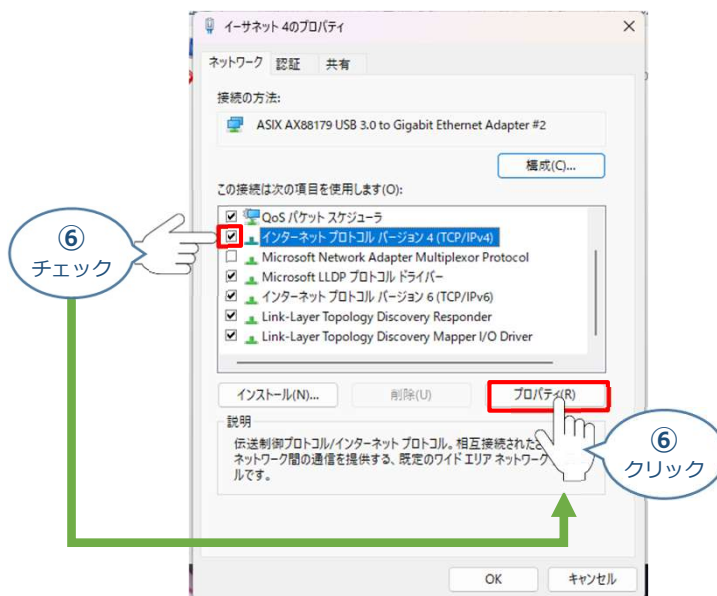
- ⑤ プロパティ(R) をクリックします。



- ⑥ “ネットワークのプロパティ 画面” が表示されます。

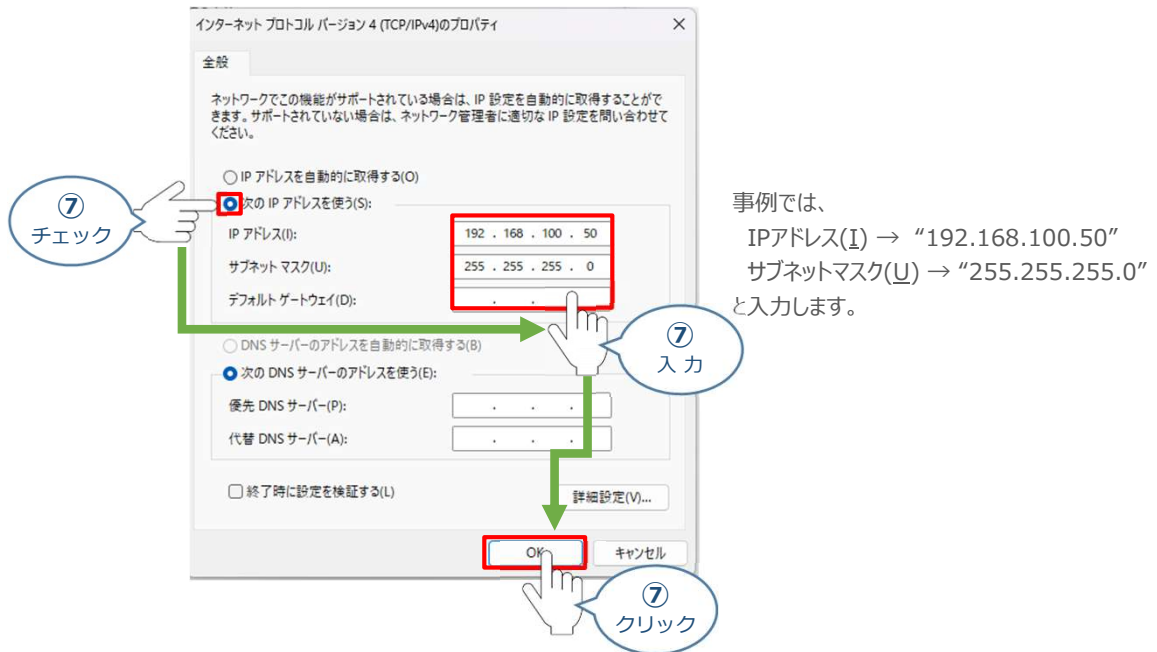
“この接続は次の項目を使用します(O)”欄の **インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)** をチェック☑し、
プロパティ(R) をクリックします。

ネットワークのプロパティ 画面



- ⑦ “インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）のプロパティ 画面”が表示されます。
 “次のアドレスを使う(S)” にチェック☑し、IPアドレス(I)、サブネットマスク(U)を入力します。
 入力ができたら **OK** をクリックします。

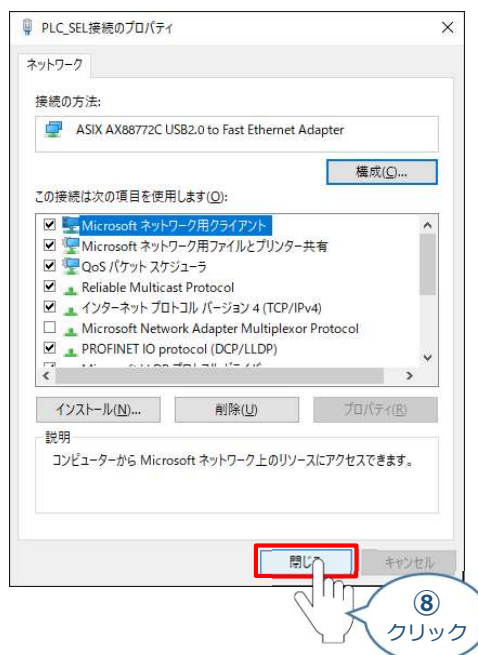
インターネットプロトコルバージョン4
 (TCP/IPv4) のプロパティ 画面



- ⑧ “ネットワークのプロパティ 画面”に戻ります。

閉じる をクリックします。

ネットワークのプロパティ 画面



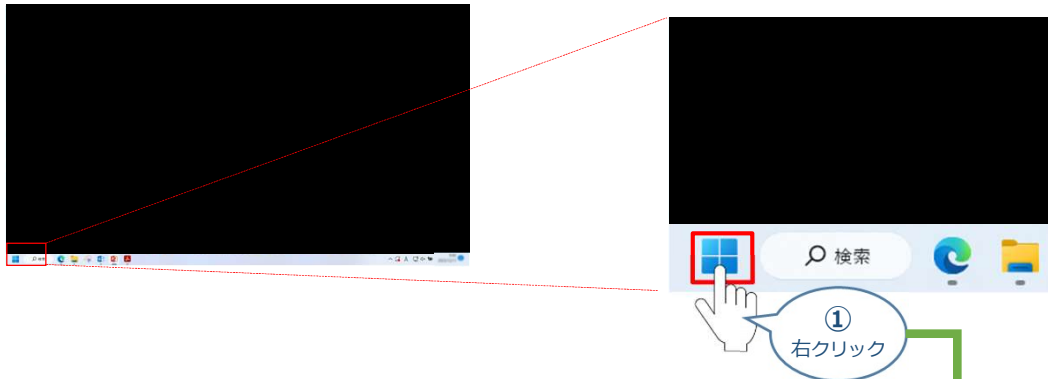
以上でパソコンの設定は終了です。

パソコンからの ping 応答確認

1 Windows PowerShell の立上げ

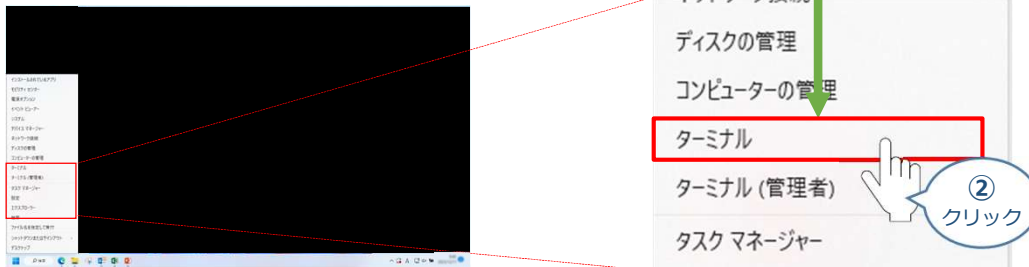
- ① Windowsの スタートボタン を右クリックします。

デスクトップ 画面



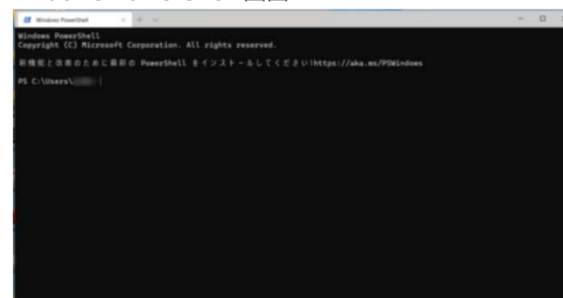
- ② スタートメニューの中にある、**ターミナル** をクリックします。

デスクトップ 画面



Windows PowerShell が立上がります。

Windows PowerShell 画面



事例では、
Windows PowerShell
を使用しますが、
コマンドプロンプトでも可能です。

2 ping 応答確認

- ① Windows PowerShell へ “ping 〇IPアドレス” を入力しエンターキーを押下します。

Windows PowerShell 画面

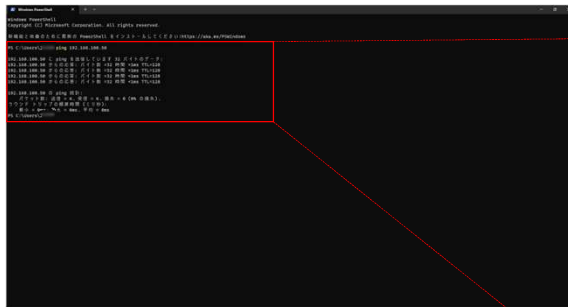


PS C:\Users\1111> ping 192.168.100.50

事例では、
“ ping 〇192.168.100.50 ”
と入力します。

※ 〇は半角スペース

- ② pingコマンドを実行すると、下図のように通信状態が表示されます。



PS C:\Users\1111> ping 192.168.100.50

192.168.100.50 に ping を送信しています 32 バイトのデータ:
192.168.100.50 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128
192.168.100.50 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128
192.168.100.50 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128
192.168.100.50 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128

192.168.100.50 の ping 統計:
パケット数: 送信 = 4、受信 = 4、損失 = 0 (0% の損失)、
ラウンド トリップの概算時間 (ミリ秒):
最小 = 0ms、最大 = 0ms、平均 = 0ms

PS C:\Users\1111>

通信ができていない場合は、以下のように表示されます。

PS C:\Users\1111> ping 192.168.100.50

192.168.0.100 に ping を送信しています 32 バイトのデータ:
192.168.12.1 からの応答: 宛先ホストに到達できません。
192.168.12.1 からの応答: 宛先ホストに到達できません。
192.168.12.1 からの応答: 宛先ホストに到達できません。
192.168.12.1 からの応答: 宛先ホストに到達できません。

192.168.100.50 の ping 統計:
パケット数: 送信 = 4、受信 = 4、損失 = 0 (0% の損失)、
PS C:\Users\1111>

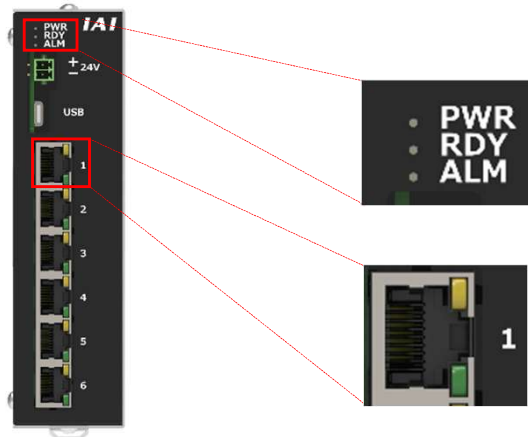
以上で、パソコンからのping 応答確認は完了です。

5 通信状態の確認

各機器の通信状態を確認します。

スマートウェブユニットの通信状態確認

スマートウェブユニット前面にある LED の表示状態（色）を見て、正常通信状態であるか確認します。
正常時の LED 状態は以下のとおりです。



システムステータスLED

- ・ PWR : 緑点灯
- ・ RDY : 緑点灯
- ・ ALM : 消灯

EthernetコネクターLED

- ・ 橙 : 橙点滅
- ・ 緑 : 緑点灯

システムステータスLEDの表示状態

※ 赤枠が正常な状態です

名称	色	表示状態	説明
PWR	■ 緑	●	電源ON
	—	×	電源OFF
RDY	■ 緑	●	IAI製品と接続完了
	■ 緑	★	IAI製品と接続未完了
	—	×	電源OFF、またはWebアプリ非起動中
ALM	■ 赤	●	Webアプリが異常終了状態
	—	×	電源OFF、またはWebアプリ起動中

○ : 点灯、 × : 消灯、 ☆ 点滅

EthernetコネクターLEDの表示状態

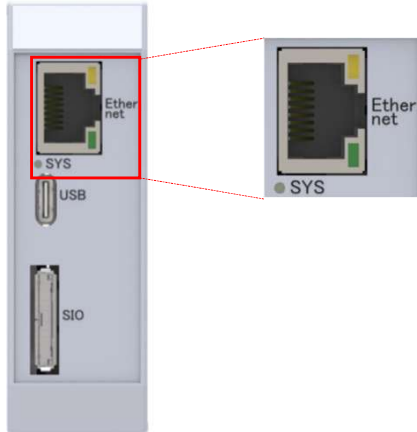
※ 赤枠が正常な状態です

色	表示状態	説明
■ 橙	★	アクティビティあり
	×	アクティビティなし
■ 緑	●	リンク状態検出中
	×	非リンク状態

○ : 点灯、 × : 消灯、 ☆ 点滅

Ethernet/RS-485変換器の通信状態確認

Ethernet/RS-485変換器前面にある LEDの表示状態（色）を見て、正常通信状態であるか確認します。



正常時のLED 状態は以下のとおりです。

EthernetコネクターLED

- ・ 橙 : **橙点灯** / 消灯
- ・ 緑 : **緑点灯**

システムステータスLED

- ・ SYS : **緑点灯**

※ USBバスパワーで起動している場合は、LED状態は消灯です。

EthernetコネクターLEDの表示状態

※ 赤枠が正常な状態です

色	表示状態	説明
■ 橙	●	100Mbps 接続
	×	10Mbps 接続
■ 緑	●	リンク状態検出中
	×	非リンク状態

○ : 点灯、 × : 消灯

システムステータスLEDの表示状態

※ 赤枠が正常な状態です

名称	色	表示状態	説明
SYS	■ 緑	●	TCPコネクション確立中
		★	TCPコネクション非確立中
	■ 赤	●	システム異常
		★	パラメーター異常
	—	×	電源OFF、またはUSBバスパワーで起動中

○ : 点灯、 × : 消灯、 ☆点滅

STEP 2

動作させる

- 1. Webアプリの立上げ p41
- 2. Webアプリから動作させる p45

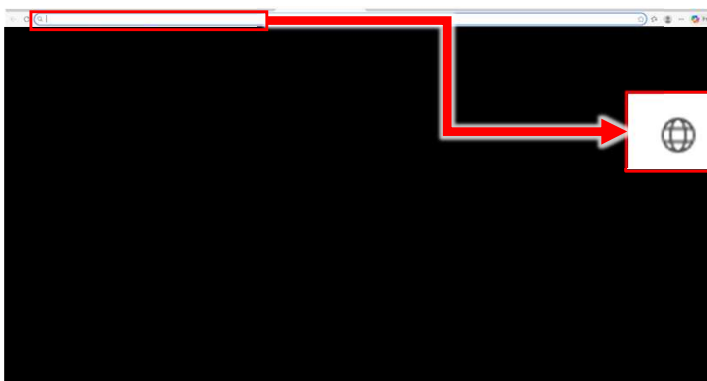
1 Webアプリの立上げ

Webアプリの立上げについて、以下の手順を参考にして行ってください。

無線ティーチング用Webアプリへの接続

お使いのブラウザで、URL : http://【スマートウェブユニットに設定したIPアドレス】/ へアクセスします。

ブラウザ 画面



http://192.168.100.5/



本事例では、
スマートウェブユニットのIPアドレスを
192.168.100.5 に設定

無線機器パラメーター設定ツールで設定した、ホスト名でのアクセスも可能です。

補 足

スマートウェブユニットのホスト名の設定

無線機器パラメーター設定ツールでのホスト名の設定を以下の手順で可能です。

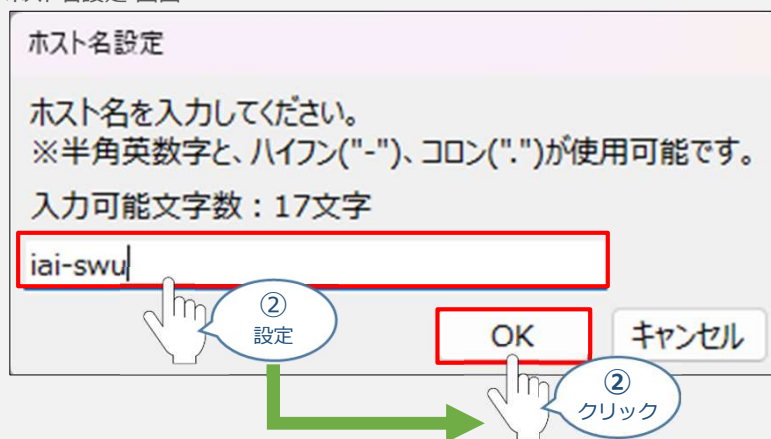
- ① “パラメーター編集 画面” の **ホスト名設定** をクリックします。



- ② ホスト名 を設定し、 **OK** をクリックします。

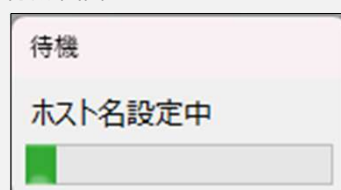
ホスト名の初期設定は、iai-swu です。

ホスト名設定 画面



- ③ ホスト名の設定が完了したら、 **OK** をクリックします。

待機 画面



情報 画面





無線ティーチング用Webアプリの初回セットアップ

スマートウェブユニットに搭載するWebアプリの機能を使用するには、ユーザー認証が必須です。
初回接続時（アカウント未作成状態）は、以下の手順に従い、管理者ユーザー登録を行います。

- ① 初回接続時は、“初回セットアップ 画面” が表示されます。

管理者ID および パスワードは、任意で設定をして、[管理者アカウントを作成](#) をクリックします。

初回セットアップ 画面

- ② 初回セットアップが完了すると、“ログイン 画面” が表示されます。

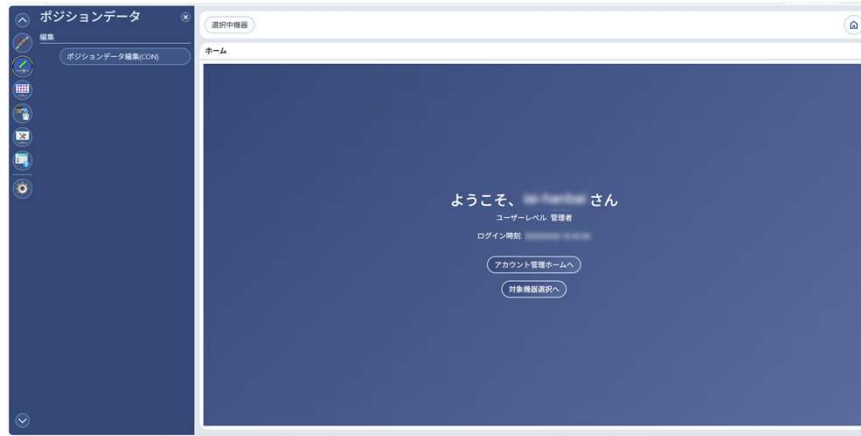
初回セットアップで設定した 管理ユーザーID と パスワード でログインをします。

初回セットアップ 画面

ログイン 画面

- ③ ログイン後、無線ティーチング用Webアプリの“メイン 画面”が表示されます。

メイン 画面



これで、無線ティーチング用Webアプリの初回セットアップは完了です。

2 ブラウザから動作させる

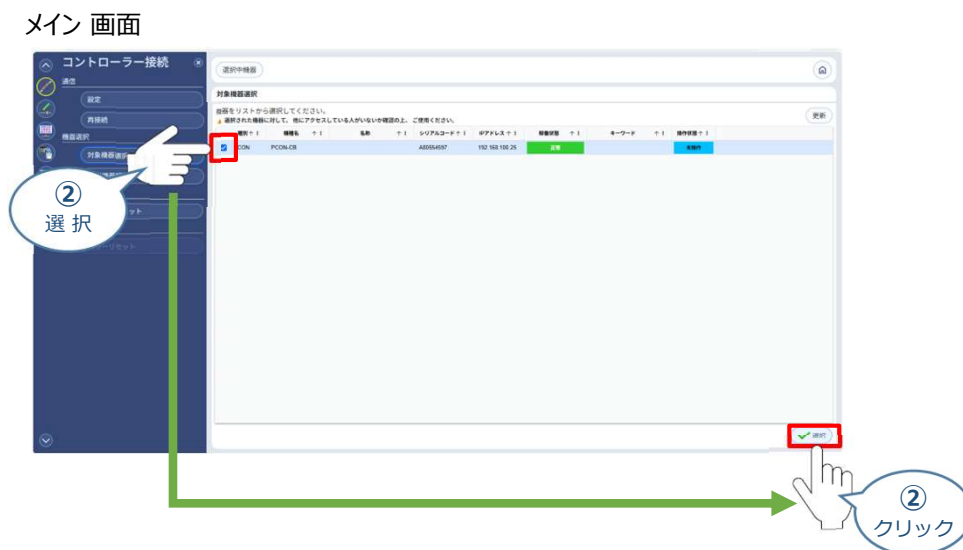
接続機器の選択

無線ティーチング用Webアプリにて、以下の手順で接続する機器を選択します。

- ① “メイン 画面” の 左にあるメニューから、 を選択し、**対象機器選択** をクリックします。



- ② 対象機器が表示されますので、接続したい機器にチェックをいれて、**✓選択** をクリックします。



- ③ “警告 画面” の **はい** をクリックします。

警告 画面



- ④ “MANU動作モード設定 画面” の選択をし、**確定** をクリックします。



以上で、接続機器の選択は完了です。

以降の調整について、Webアプリから動作させる場合、
コントローラ前面の動作モード設定スイッチをMANU側に切替えてください。
AUTO側の場合、Webアプリからアクチュエーターを動作させることはできません。

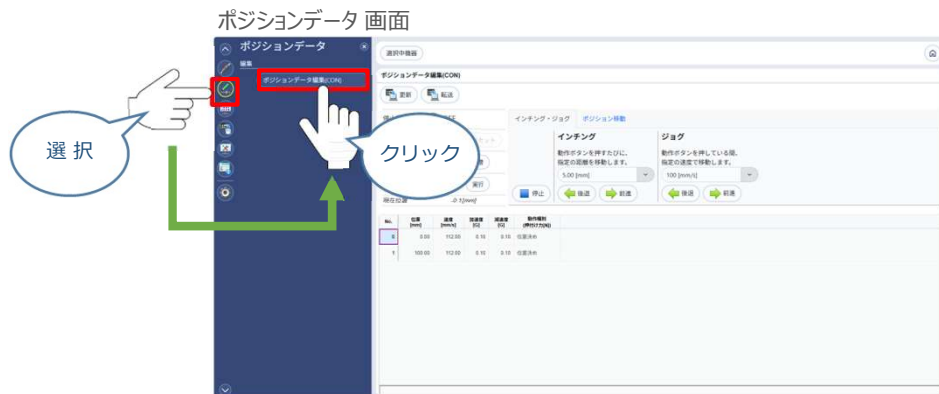


アクチュエーターの動作について



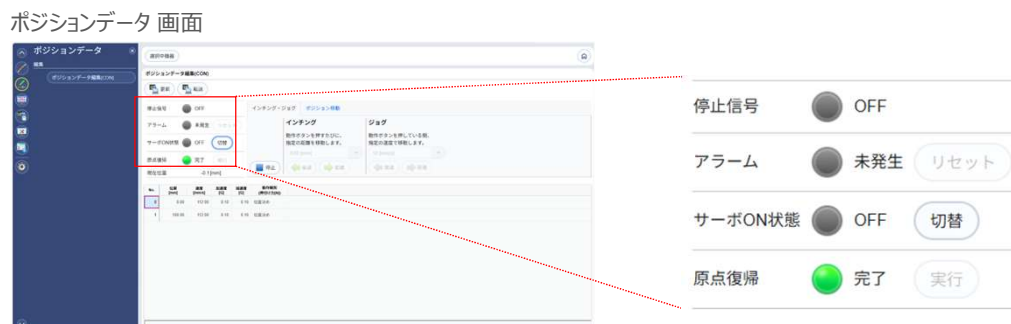
アクチュエーター動作をはじめる前に、アクチュエーター可動範囲内に干渉物がないか十分に確認してください。

“メイン 画面” の 左にあるメニューから、 を選択し、**ポジションデータ編集(CON)** を クリックします。
“ポジションデータ 画面” が表示されます。



1 サーボON、原点復帰について

“ポジションデータ 画面” から、接続アクチュエーターの状態が確認できます。



前付

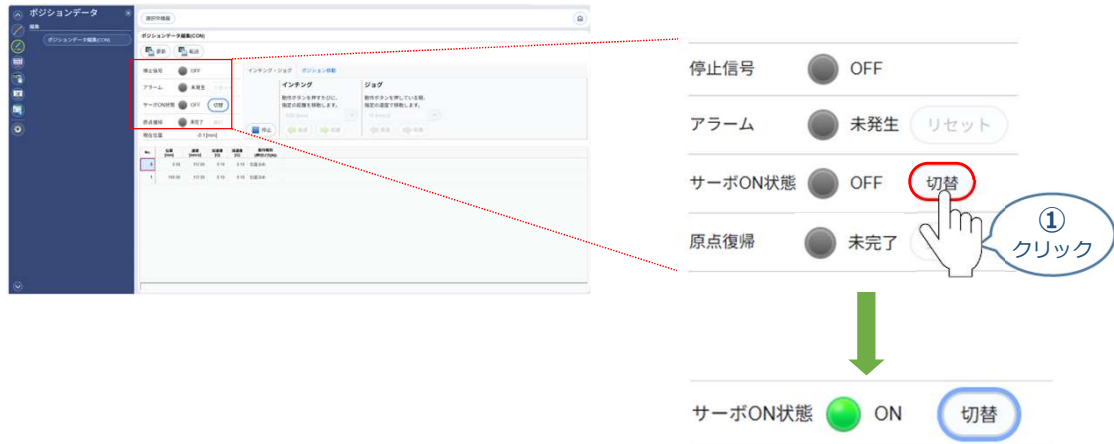
STEP
1STEP
2

動作させる

補足

- ① “ポジションデータ 画面”にて、停止信号がOFF、アラームが未発生であることを確認し、サーボON状態の **切替** を選択します。

ポジションデータ 画面



- ② 原点復帰の **実行** を選択し、原点復帰を行います。

ポジションデータ 画面



注意

原点復帰済みのバッテリーレスアブソリュートエンコーダー仕様（WA）は、原点復帰を行う必要はありません。

2 インチング動作、ジョグ動作について

“ポジションデータ 画面”で、 后退  前進 をクリックして、それぞれ前進、后退の動作が可能です。

ポジションデータ 画面



インチング	ジョグ
動作ボタンを押すたびに、指定の距離を移動します。	動作ボタンを押している間、指定の速度で移動します。
0.03 [mm]	10 [mm/s]
 后退  前進	 后退  前進

インチングの距離、ジョグの速度を変更可能です

バックアップ機能について

“メイン 画面” の 左にあるメニューから、 を選択し、**設定** をクリックします。
“バックアップ 画面” が表示されます。



スマートウェブユニットを使用した定期バックアップの設定が可能です。



スマートウェブユニットのバックアップの設定の詳細は、
取扱説明書[スマートウェブユニット (MJ0495)] を参照してください。

補足

無線動作手順

- | | |
|----------------|-----|
| 1. 必要な機器の確認 | p54 |
| 2. アクセスポイントの設定 | p55 |
| 3. 無線機器の設定 | p57 |

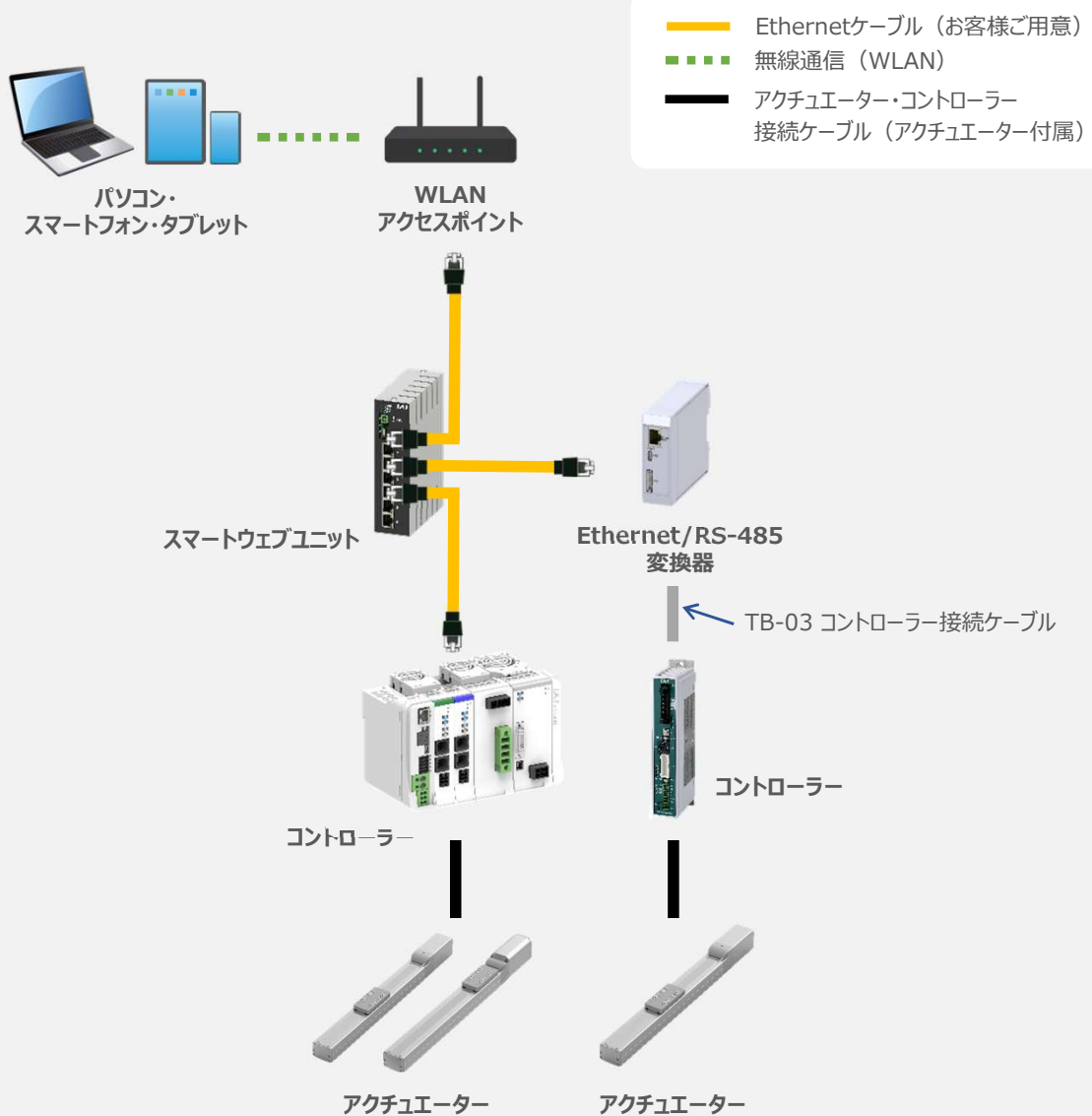


無線接続について

スマートウェブユニットを使用し、無線接続する場合の設定を説明します。

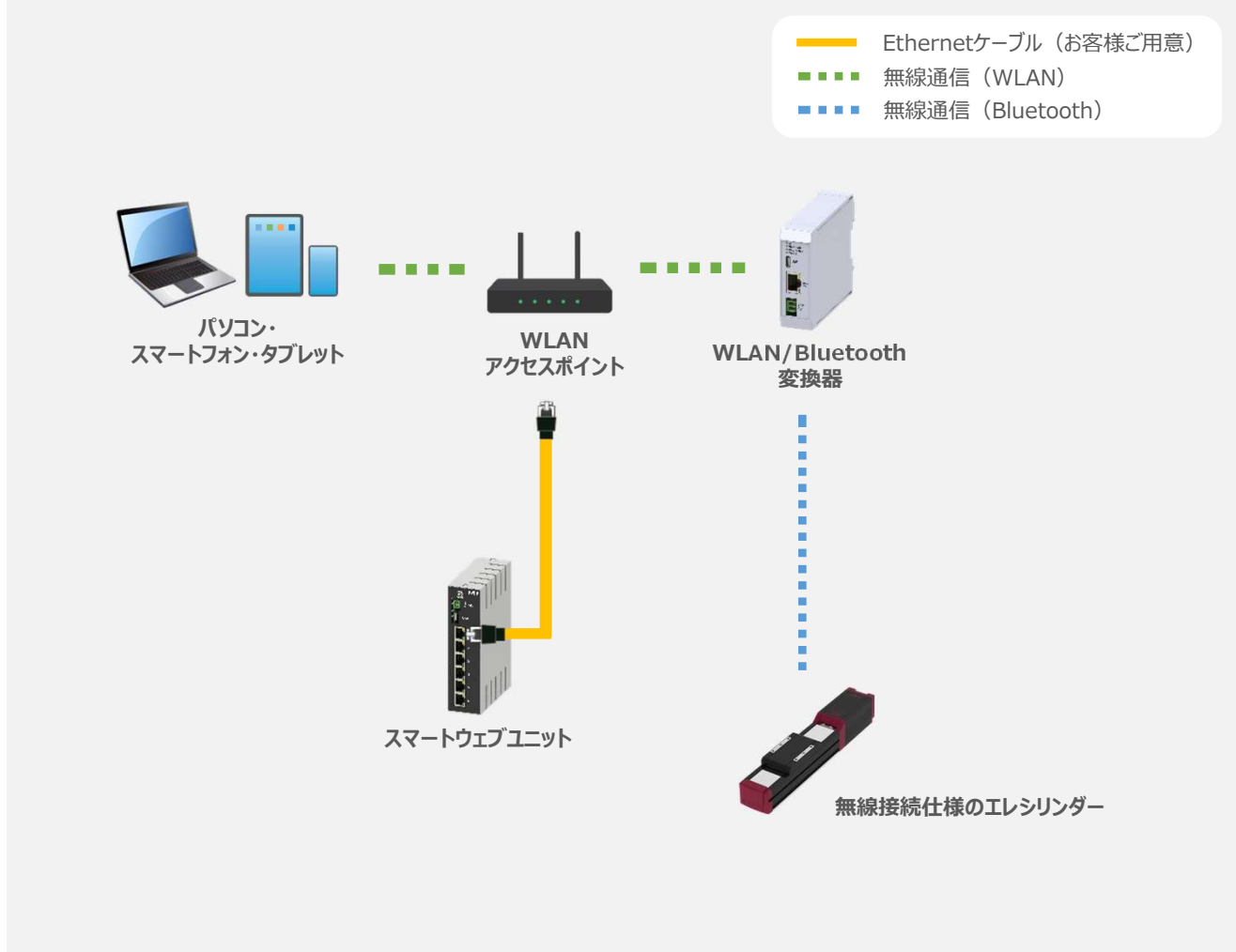
接続例

ロボシリンダー・単軸ロボットへの接続



接続例

無線接続仕様のエレシリンダーへの接続



1 必要な機器の確認（無線接続）

無線での接続をおこなう場合、以下の機器を追加で用意してください。

お客様準備品

- WLANアクセスポイント 数量1
（お客様準備品）



- パソコン・スマートフォン・タブレット
数量1



WLAN/Bluetooth変換器（型式：ICD-WLBT-*） 数量1

※ 無線接続仕様のエレシリンダーを使用する場合に用意してください。



- 24V電源用コネクタ（ワイヤー側）
数量1
型式：FMC 1.5/2-ST-3.5-RF



※変換器本体に付属

- ACアダプター
数量1
型式：UNXVX3024-240010SA



※型式：ICD-WLBTのみ
変換器本体に付属

アクチュエーター（型式例：EC-S6SAH-*-*-WL2） 数量1



※ エレシリンダーをWLAN/Bluetooth変換器経由でWebアプリと接続する場合、エレシリンダーの型式末尾にオプション型式“WL”もしくは“WL2”（無線接続仕様）がついていることを確認してください。

2 アクセスポイントの設定

WLANアクセスポイントの設定を行います。

本書では、WLANアクセスポイントの IPアドレス、サブネットマスクを以下のとおり設定しています。

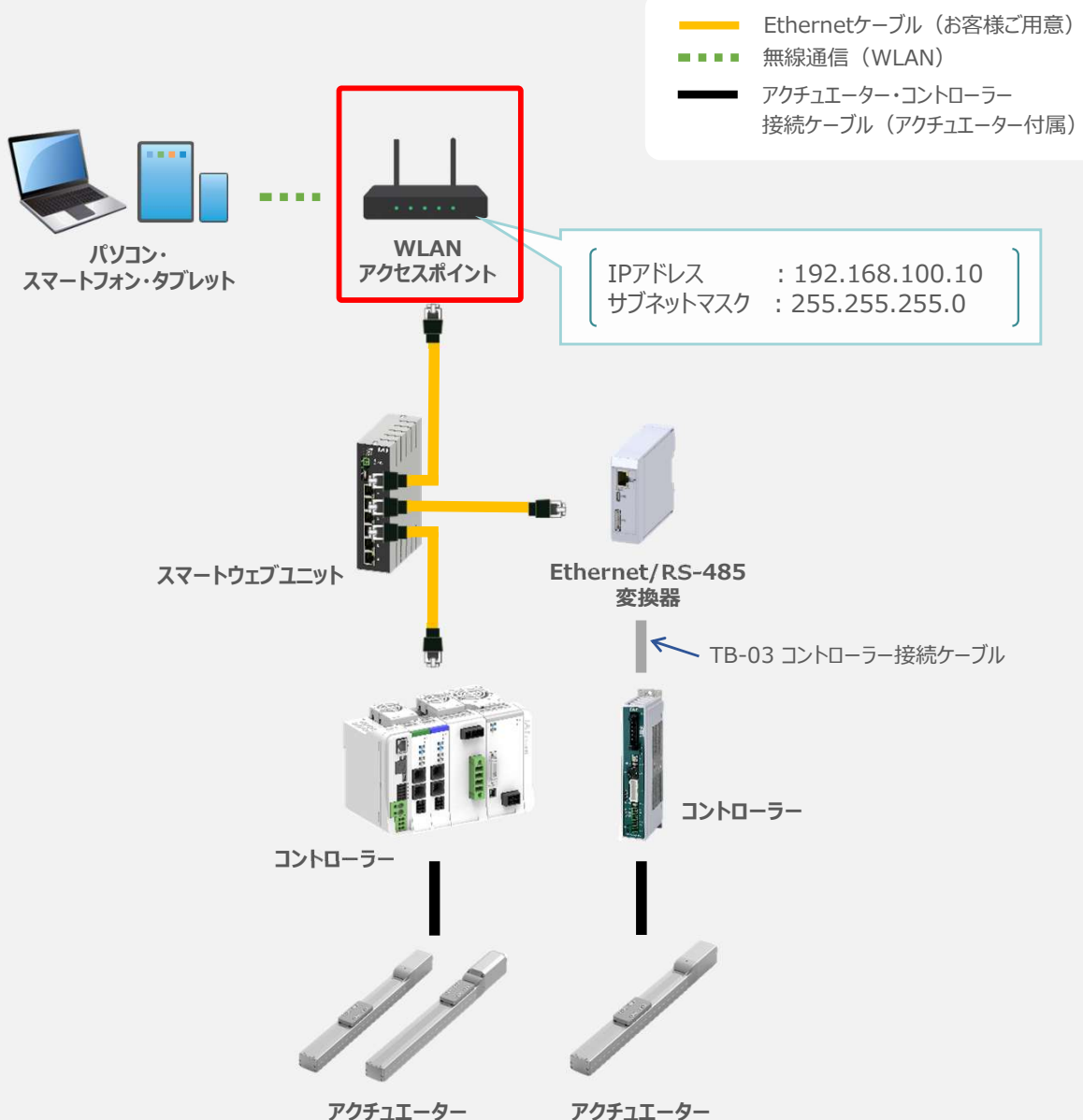
IPアドレス : 192.168.100.10
サブネットマスク : 255.255.255.0



WLANアクセスポイントのIPアドレスの設定方法については、お客様ご用意のアクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。

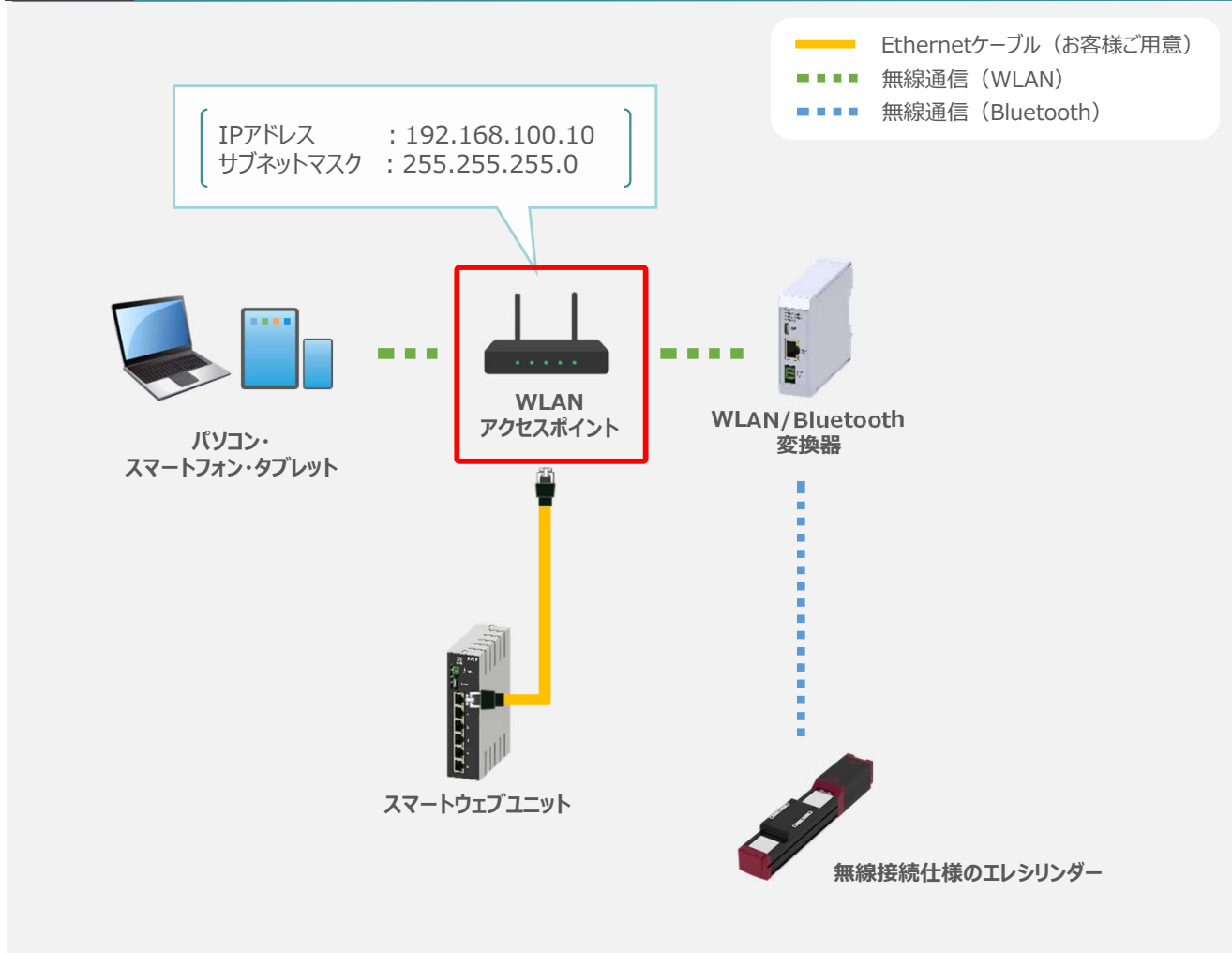
接続例

ロボシリンダー・単軸ロボットへの接続



接続例

無線接続仕様のエレシリンダーへの接続



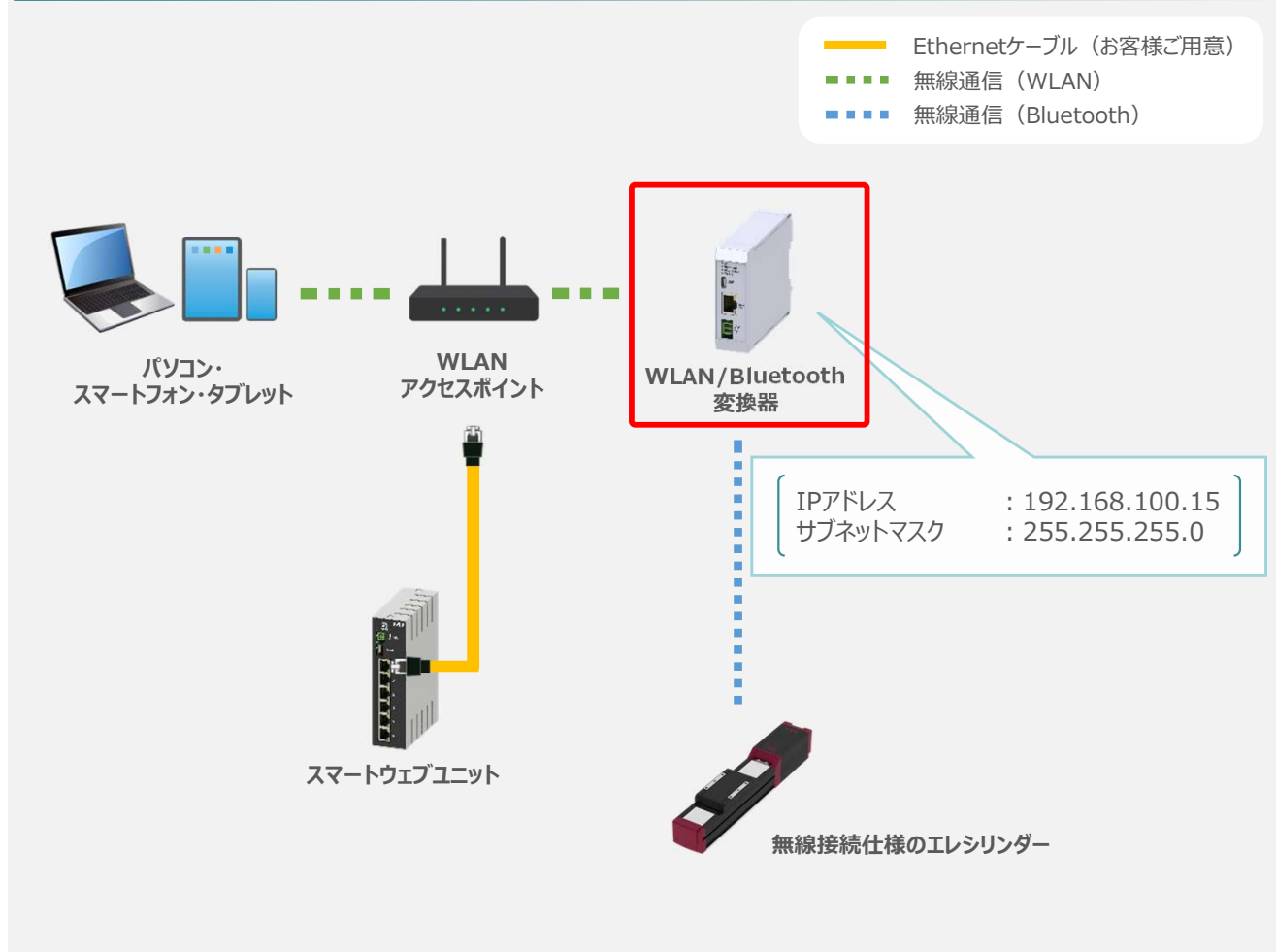
3 無線機器の設定

WLAN/Bluetooth変換器を使用する場合、WLAN/Bluetooth変換器の設定を無線機器パラメーター設定ツールで行います。

WLAN/Bluetooth変換器の設定

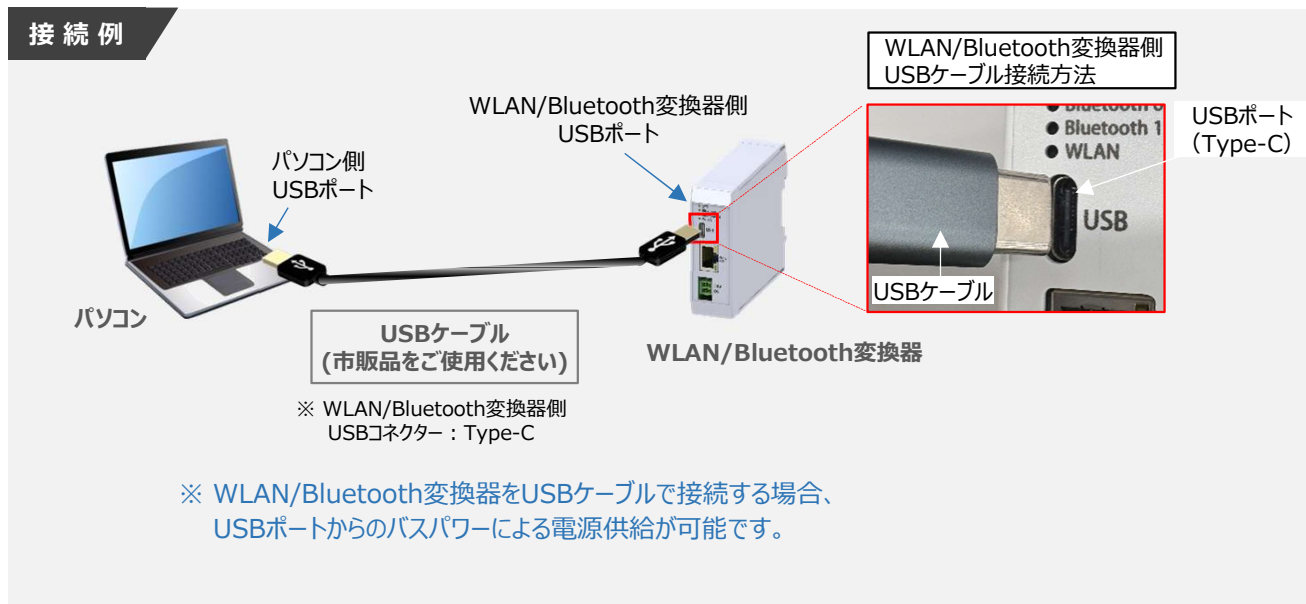
接続例

無線接続仕様のエレシリンダーへの接続



1 USBケーブルの接続

USBケーブルを下図のように接続します。



2 無線機器パラメーター設定ツールの起動

“IAI ツールボックス 画面” を立上げ、画面右上の言語表示が “Japanese”であることを確認します。

“その他 タブ” の “無線機器パラメーター設定ツール”のアイコン  をクリックします。

IAI ツールボックス 画面



3 無線機器パラメーター設定ツールでの設定

- ① “メイン 画面” が表示され、“接続機器選択 ウィンドウ” が現れます。

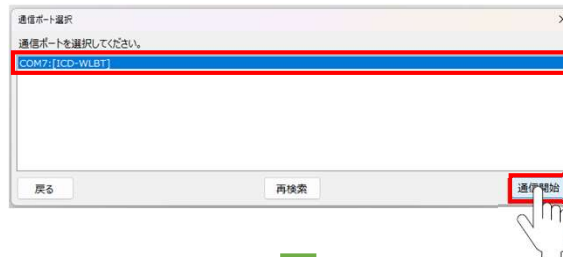


- ② “通信インタフェース選択 画面” が表示されるので、**USBシリアル通信** を選択します。



- ③ “COMポート選択 画面” もしくは “通信ポート選択 画面” が表示されるので、COMポートを確認して、**通信開始** をクリックします。通信確立が完了したら、**OK** をクリックします。

通信ポート選択 画面

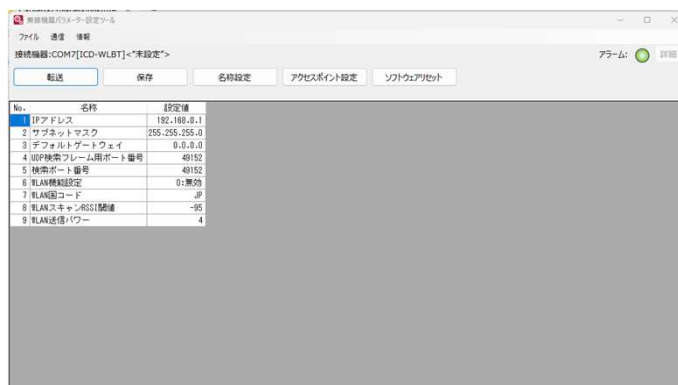


通信確立 画面



- ④ WLAN/Bluetooth変換器の “パラメーター編集 画面” が表示されます。

パラメーター編集 画面



ここで以下の3つのパラメーターを設定します。

No.1 IPアドレス

No.2 サブネットマスク

No.4 UDP検索フレーム用ポート番号

- ⑤ パラメーターNo.1 IPアドレス の設定値欄 をダブルクリックし、IPアドレスを入力後、**OK** をクリックします。

No.	名称	設定値
1	IPアドレス	192.168.0.1
2	サブネットマスク	255.255.255.0
3	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
4	UDP検索フレーム用ポート番号	40152
5	検索開始ポート番号	40152
6	検索ポート数	2
7	WLAN機能有効	有効
8	WLAN国コード	JP
9	WLANスキャンRSSI閾値	-95



事例では、IPアドレスを
“192.168.100.15” と入力します。

- ⑥ パラメーターNo.2 サブネットマスク の設定値欄 をダブルクリックし、サブネットマスクを入力後、
OK をクリックします。

No.	名称	設定値
1	IPアドレス	192.168.100.15
2	サブネットマスク	255.255.255.0
3	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
4	UDP検索フレーム用ポート番号	49152
5	検索ポート番号	49152
6	WLAN機能設定	無効
7	WLAN国コード	JP
8	WLANスキャンRSSI閾値	-95
9	WLAN送信パワー	4

⑥
ダブル
クリック

パラメーター値入力

サブネットマスク

255 . 255 . 255 . 0

OK

⑥
クリック

事例では、サブネットマスクを
“255.255.255.0” と入力します。
(デフォルト値)

- ⑦ パラメーターNo.4 UDP検索フレーム用ポート番号 の設定値欄 をダブルクリックし、
UDP検索フレーム用ポート番号を入力します。

No.	名称	設定値
1	IPアドレス	192.168.100.15
2	サブネットマスク	255.255.255.0
3	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
4	UDP検索フレーム用ポート番号	49152
5	検索ポート番号	49152
6	WLAN機能設定	無効
7	WLAN国コード	JP
8	WLANスキャンRSSI閾値	-95
9	WLAN送信パワー	4

⑦
ダブル
クリック

4	UDP検索フレーム用ポート番号	49152
---	-----------------	-------

事例では、UDP検索フレーム用ポート番号を
“49152” と入力します。(デフォルト値)

- ⑧ パラメーターNo.6 WLAN機能設定 を “有効” に変更します。

パラメーター編集 画面

パラメーター編集 (5/5) 設定ツール

接続機器: COM7 [ICD-WLBT] <“未設定”>

アラーム: 詳細

転送 保存 名称設定 アクセスポイント設定 ソフトウェアリセット

No.	名称	設定値
1	IPアドレス	192.168.100.15
2	サブネットマスク	255.255.255.0
3	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
4	UDP検索フレーム用ポート番号	49152
5	検索ポート番号	49152
6	WLAN機能設定	無効
7	WLAN国コード	JP
8	WLANスキャンRSSI閾値	-95
9	WLAN送信パワー	4

⑧
クリック

0:無効
1:有効

⑧
変更

- ⑨ アクセスポイント設定 をクリックします。



- ⑩ “WLANアクセスポイント設定 画面” が表示されますので、**設定変更** をクリックし、WLANアクセスポイントを検索します。

WLANアクセスポイント設定 画面



- ⑪ 検索されたWLANアクセスポイントが表示されますので、該当のSSIDを選択し、**進む** をクリックします。

WLANアクセスポイント登録 画面



- ⑫ WLANアクセスポイントの接続にパスワードが必要な場合は、パスワードの入力を要求されますので、WLANアクセスポイントのパスワードの入力後、**進む** をクリックします。

WLANパスワード入力 画面

WLAN/パスワード入力

WLANのパスワードを入力して下さい。

SSID : [パスワード入力欄]

[表示] [戻る] [進む]



WLAN/パスワード入力

WLANのパスワードを入力して下さい。

SSID : [パスワード入力欄]

[表示] [進む] [戻る]

- ⑬ アクセスポイントの登録完了の“情報 画面”が表示されたら、**OK** をクリックします。
WLAN機能の設定は完了です。

待機 画面

待機

アクセスポイント設定中



待機 画面

待機

WLANアクセスポイント登録中

情報 画面

情報

アクセスポイントの登録が完了しました。

[OK]



注意

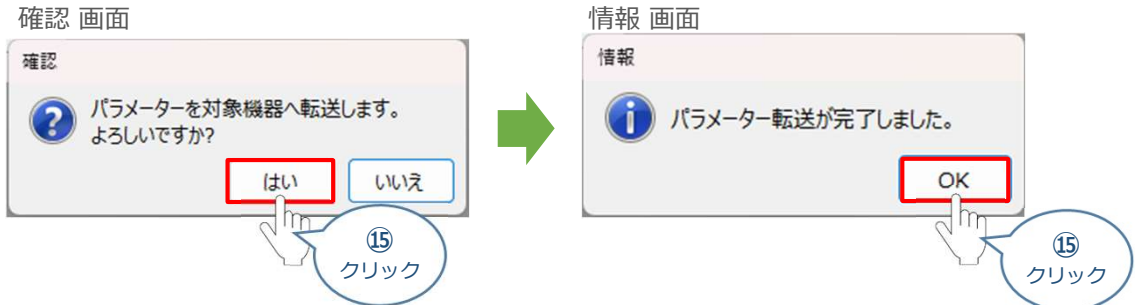
パラメーターNo.6 WLAN機能設定 が“有効”に設定されていると、Ethernetケーブルでの接続ができません。WLAN/Bluetooth変換器をの無線機能を使用しない場合、パラメーターNo.6 WLAN機能設定 は“無効”に設定してください。

- ⑭ **転送** をクリックし、設定したパラメーターを転送します。

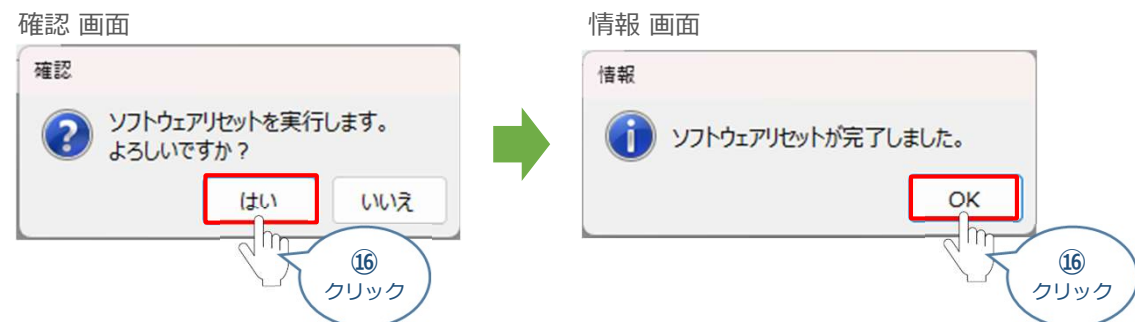
パラメーター編集 画面



- ⑮ 転送の“確認 画面”が表示されますので、**はい** をクリックします。
“情報 画面”では **OK** をクリックします。



- ⑯ ソフトウェアリセット実行の“確認 画面”が表示されますので、**はい** をクリックします。
“情報 画面”では **OK** をクリックします。

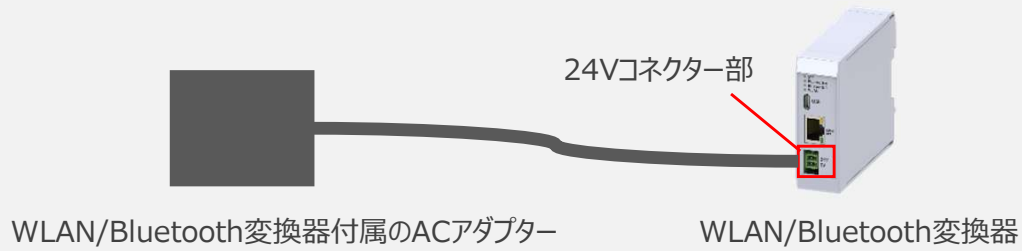


以上で無線接続のための設定は終了です。

補 足

WLAN/Bluetooth変換器への電源投入

WLAN/Bluetooth変換器の24Vコネクター部に、ACアダプターから24V電源を投入します。

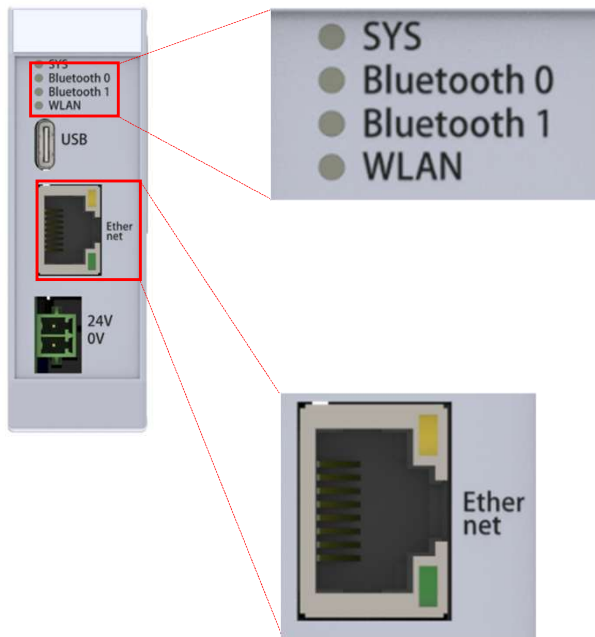


通常運用時は、WLAN/Bluetooth変換器にUSBケーブルを接続しないでください。
USBケーブルを繋ぎ、バスパワーで接続している場合、WLAN/Bluetooth変換器は動作しません。

WLAN/Bluetooth変換器の通信状態確認

WLAN/Bluetooth変換器前面にある LEDの表示状態（色）を見て、正常通信状態であるか確認します。

正常時のLED 状態は以下のとおりです。



システムステータスLED

- SYS : 緑点灯
- Bluetooth0 : 緑点滅（高速）
- Bluetooth1 : 緑点滅（高速）
- WLAN : 緑点滅（高速）

（WLANを使用しない場合、消灯）

※ USBバスパワーで起動している場合は、LED状態はすべて消灯です。

※ 高速 ... 500ms周期

EthernetコネクターLED

- 赤 : 橙点灯 / 消灯
- 緑 : 緑点灯

システムステータスLEDの表示状態

※ 赤枠が正常な状態です

名称	色	表示状態	説明
SYS	■ 緑	●	TCPコネクション確立
	■ 緑	★	TCPコネクション非確立
	—	×	電源OFF、またはUSBバスパワーで起動中
Bluetooth0	■ 緑	★	点滅速度：高速（500ms周期） Bluetoothコネクション確立
			点滅速度：低速（2s周期） Bluetoothコネクション確立待ち
			点滅速度：単一 Bluetoothデバイス検出
	■ 赤	●	Bluetooth異常
	—	×	電源OFF、またはUSBバスパワーで起動中
Bluetooth1	■ 緑	★	点滅速度：高速（500ms周期） Bluetoothコネクション確立
			点滅速度：低速（2s周期） Bluetoothコネクション確立待ち
	■ 赤	●	Bluetooth異常
	—	×	電源OFF、またはUSBバスパワーで起動中
WLAN	■ 緑	★	点滅速度：高速（500ms周期） WLANコネクション確立
			点滅速度：低速（2s周期） WLANコネクション確立待ち
	■ 赤	●	WLAN異常
	—	×	電源OFF、またはWebアプリ起動中

○：点灯、×：消灯、☆点滅

EthernetコネクターLEDの表示状態

※ 赤枠が正常な状態です

色	表示状態	説明
■ 橙	●	100Mbps 接続
	×	10Mbps 接続
■ 緑	●	リンク状態検出中
	×	非リンク状態

○：点灯、×：消灯

改版履歴

2026.5 1A 初版発行



株式会社アイエイアイ

本社・工場	〒424-0114 静岡県静岡市清水区庵原町1210	TEL 054-364-5105 FAX 054-364-2589
東京営業所	〒105-0014 東京都港区芝3-24-7 芝エグゼーシビルディング 4F	TEL 03-5419-1601 FAX 03-3455-5707
大阪営業所	〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島6-2-40 中之島インテス14F	TEL 06-6479-0331 FAX 06-6479-0236
名古屋営業所	〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄5-28-12 名古屋若宮ビル 8F	TEL 052-269-2931 FAX 052-269-2933
小牧営業所	〒485-0029 愛知県小牧市中央1-271 大垣共立銀行 小牧支店ビル 6F	TEL 0568-73-5209 FAX 0568-73-5219
四日市営業所	〒510-0086 三重県四日市市諏訪栄町1-12 朝日生命四日市ビル 6F	TEL 059-356-2246 FAX 059-356-2248
新豊田営業所		
営業1課	〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町1-5-3 朝日生命新豊田ビル 4F	TEL 0565-36-5115 FAX 0565-36-5116
三河営業所		
営業2課	〒446-0058 愛知県安城市三河安城南町1-15-8 サンテラス三河安城 4F	TEL 0566-71-1888 FAX 0566-71-1877
営業3課	〒446-0058 愛知県安城市三河安城南町1-15-8 サンテラス三河安城 4F	TEL 0566-71-1888 FAX 0566-71-1877
営業4課	〒446-0058 愛知県安城市三河安城南町1-15-8 サンテラス三河安城 4F	TEL 0566-71-1888 FAX 0566-71-1877
盛岡営業所		
秋田出張所	〒020-0062 岩手県盛岡市長田町6-7クリエ21ビル7F	TEL 019-623-9700 FAX 019-623-9701
仙台営業所	〒018-0402 秋田県にかほ市平沢字行ヒ森2-4	TEL 0184-37-3011 FAX 0184-37-3012
新潟営業所	〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉1-6-6イースタンビル 7F	TEL 022-723-2031 FAX 022-723-2032
宇都宮営業所	〒940-0082 新潟県長岡市千歳3-5-17 センザビル2F	TEL 0258-31-8320 FAX 0258-31-8321
熊谷営業所	〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷5-1-16ルーセントビル3F	TEL 028-614-3651 FAX 028-614-3653
茨城営業所	〒360-0847 埼玉県熊谷市籠原南1-312あかりビル 5F	TEL 048-530-6555 FAX 048-530-6556
多摩営業所	〒300-1207 茨城県牛久市ひたち野東5-3-2 ひたち野うしく池田ビル 2F	TEL 029-830-8312 FAX 029-830-8313
甲府営業所	〒190-0023 東京都立川市柴崎町3-14-2 BOSENビル 2F	TEL 042-522-9881 FAX 042-522-9882
厚木営業所	〒400-0031 山梨県甲府市丸の内2-12-1ミサトビル3 F	TEL 055-230-2626 FAX 055-230-2636
長野営業所	〒243-0014 神奈川県厚木市旭町1-10-6シャンロック石井ビル 3F	TEL 046-226-7131 FAX 046-226-7133
静岡営業所	〒390-0852 長野県松本市島立943 ハーモネートビル401	TEL 0263-40-3710 FAX 0263-40-3715
浜松営業所	〒424-0114 静岡県静岡市清水区庵原町1210	TEL 054-364-6293 FAX 054-364-2589
金沢営業所	〒430-0936 静岡県浜松市中央区大工町125 シャンソンビル浜松7F	TEL 053-459-1780 FAX 053-458-1318
滋賀営業所	〒920-0024 石川県金沢市西念1-1-7 金沢けやき大通りビル2F	TEL 076-234-3116 FAX 076-234-3107
京都営業所	〒524-0033 滋賀県守山市浮気町300-21第2小島ビル2F	TEL 077-514-2777 FAX 077-514-2778
兵庫営業所	〒612-8418 京都府京都市伏見区竹田向代町559番地	TEL 075-693-8211 FAX 075-693-8233
岡山営業所	〒673-0898 兵庫県明石市樽屋町8-34 第5池内ビル8F	TEL 078-913-6333 FAX 078-913-6339
広島営業所	〒700-0973 岡山県岡山市北区下中野311-114 OMOTO-ROOT BLD.101	TEL 086-805-2611 FAX 086-244-6767
徳島営業所	〒730-0051 広島県広島市中区大手町3-1-9 広島鯉城通りビル 5F	TEL 082-544-1750 FAX 082-544-1751
松山営業所	〒770-0905 徳島県徳島市東大工町1-9-1 徳島ファーストビル5F-B	TEL 088-624-8061 FAX 088-624-8062
福岡営業所	〒790-0905 愛媛県松山市樽味4-9-22フォーレスト 21 1F	TEL 089-986-8562 FAX 089-986-8563
大分営業所	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東3-13-21エフビルWING 7F	TEL 092-415-4466 FAX 092-415-4467
熊本営業所	〒870-0823 大分県大分市東大道1-11-1タンネンバウム Ⅲ 2F	TEL 097-543-7745 FAX 097-543-7746
	〒862-0910 熊本県熊本市東区健軍本町1-1 拓洋ビル4F	TEL 096-214-2800 FAX 096-214-2801

お問い合わせ先
アイエイアイお客様センター エイト

(受付時間) 月～金24時間 (月7：00AM～金 翌朝7：00AM) 土、日、祝日8：00AM～5：00PM (年未年始を除く)	
フリー ダイヤル	0800-888-0088
FAX:	0800-888-0099 (通話料無料)

ホームページアドレス www.iai-robot.co.jp